

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

1	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	・・・	p. 1
	(1) 学生確保の見通し	・・・	p. 1
	(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	・・・	p. 5
2	人材需要の動向等社会の要請	・・・	p. 6
	(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	・・・	p. 6
	(2) 上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	・・・	p. 6

学生の確保の見通し等を記載した書類

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生確保の見通し

① 定員充足の見込み

○ 入学定員設定の考え方

この度設置する理工学部の入学定員を設定するにあたり、本学部を構成する数理学専攻、情報科学専攻、機械工学専攻、電気電子工学専攻、建築学専攻の各系統分野の学科、専攻を保有する近畿圏の主要私立大学の入学定員、学生募集状況を調査分析した。

調査分析の結果、各系統分野の平均入学定員は、数理学系統 約 67 名、情報科学系統 約 114 名、機械工学系統 約 154 名、電気電子系統 約 131 名、建築学系統 約 154 名、入学者数に対する平均志願倍率（合格者に対する平均志願倍率）は、数理学系統約 12.9 (3.6) 倍、情報科学系統約 16.0 (6.1) 倍、機械工学系統約 21.5 (4.0) 倍、電気電子系統約 16.7 (3.3) 倍、建築学系統約 19.8 (5.5) 倍であった。

この調査結果及び、後述の「定員充足の見込み」において記す本学部学科系統分野の動向分析、アンケート調査結果から、開設当初、一定のレベルを保ち、確実な学生確保を図るため、また、各専攻において、可能な限り少人数で良質の教育を実践するため、この度設置する数理学専攻、情報科学専攻、機械工学専攻、電気電子工学専攻、建築学専攻の 5 専攻を擁する理工学部理工学科の入学定員、収容定員を入学定員 230 名、収容定員 920 名に設定した。

(※ 資料 1「2018 年度 近畿地区 主要私立大学理工系学部 学生募集状況一覧」参照)

○ 理工学系統分野動向

この度設置する理工学部の各系統分野の動向について、「2018 年度 全国 私立大学 学部別の入学者・志願者動向」の主な学部系統別の志願者・入学者動向（大学）に記載されている入学定員充足率に着目すると、工学部では、平成 29 年度 105.22%、平成 30 年度 103.54%、理工学部では、平成 29 年度 104.25%、平成 30 年度 99.40%と、それぞれ若干減少傾向に推移しているが、ほとんどの大学において定員充足はできている状況である。

また、株式会社リクルートマーケティングパートナーズ調べによる「全国 理工学

系学部の過去 10 か年の志願者数推移」をみると、2009 年度が、志願者数 119,935 人、志願倍率 11.1 倍であったところ、2018 年度には、志願者数 151,535 人、志願倍率 14.0 倍と堅調に伸びてきている。

また、河合塾グループ K E I アドバンス調べによる「2018 年度 近畿地区 私立大学志願動向」によると、本学理工学部で設置する各系統分野の志願者数前年度比は、数理・情報系統が 104%、機械・航空系統が 98%、電気・電子系統が 110%、通信・情報系統が 114%、建築系統が 102%、以上 5 系統分野の平均志願者数前年比で 105%と、堅調に推移している。

(※ 資料 2 「2018 年度 全国 私立大学 学部別の入学者・志願者動向」参照)

(※ 資料 3 「全国 理工系学部の過去 10 か年の志願者数推移」参照)

(※ 資料 4 「2018 年度 近畿地区 私立大学志願動向」参照)

② 定員充足の根拠となる調査結果の概要

定員充足の根拠となる調査として、現在、高等学校 2 年生の生徒を対象とする本学理工学部への受験、入学意欲の調査を、株式会社 高等教育総合研究所に依頼実施し、以下の結果を得た。

○ 学生確保の見通し調査（高校生アンケート）結果概要

（調査内容）

大和大学が設置する「理工学部」の学生確保の見通しを測定するため、高校生にアンケート調査を実施。

（調査期間）

2018 年 10 月～2019 年 2 月

（調査対象）

本学理工学部を受験する可能性が高い近隣（大阪府）を中心に、5 府県（京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）に所在する高等学校の 2 年生（2020 年 3 月卒業予定者）

（調査方法）

対象となる高校にアンケート用紙を送付し、各校の教職員から調査対象者（高等学校 2 年生）にアンケート用紙を配付のうえ、10 分程度の回答時間を設け、その場で回答する方法により調査実施。

(実施校数・人数)

71 校

5,521 人 (有効回答数)

(調査結果)

<分析 1> 回答を得た高校生の基本情報

アンケート回答を得た高校生に関する基本情報について、回答者の内訳、全体傾向をみると、回答者の居住地で最も多かったのが大学の立地である「大阪府」、全回答者 5,521 人のうち 2,439 人 (全体の 44.2%)。次いで、「奈良県」1,252 人 (同 22.7%)、「兵庫県」1,080 人 (同 19.6%) の高校生から回答を得ることができた。

回答者の性別をみると、男性 3,332 人 (同 60.4%)、女性 2,154 人 (同 39.0%) と、若干男性の回答が多い結果となった。

次に、高校卒業後の進路について、進学と回答した数が 4,984 人 (同 90.3%) にのぼり、アンケート回答者の約 8 割以上の生徒が、大学等の進学を検討している。

次に、興味のある学問分野について、最も回答数が多かったのが「理学・工学・情報」分野の 2,384 人 (同 43.2%)。次いで、「社会科学系」分野 920 人 (同 16.7%)、「保健衛生学」分野 900 人 (同 16.3%) であった。

<分析 2> 大和大学 理工学部受験・入学意欲

本学理工学部への受験・入学意欲に関する調査では、「受験したい」という回答が 592 人 (同 10.7%) であった。

また、「受験したい」との回答者に対して、本学理工学部への入学意欲について回答を求めたところ、合格した場合「入学したい」との回答が 239 人 (「受験したい」との回答者の 40.4%)、「併願大学の結果によっては入学したい」が 348 人 (「受験したい」との回答者の 58.8%) と、「入学したい」という回答のみで学部入学定員の 230 人を上回っており、「併願結果によっては入学したい」と回答した 348 人を加えると、本学理工学部への入学を具体的に検討している人数は、合計 587 人にのぼり、入学定員の約 2.55 倍という結果を得た。

また、受験したいとの回答者の専攻別の志望状況をみると、数理学専攻 89 人 (回答者の 15.2%)、情報科学専攻 119 人 (回答者の 20.3%)、機械工学専攻 74 人 (回答者の 12.6%)、電気電子工学専攻 54 人 (回答者の 9.2%)、建築学専攻 133 人 (回答者の 22.7%) と、建築学専攻、情報科学専攻、数理学専攻、機械工学専攻、電気電子工学専攻の順となった。

また、大和大学理工学部を「受験しない」と回答した 4,862 人 (総回答者の

88.1%) について、その理由として最も多かったのが、「他大学への進学を希望しているから」2,486人(同51.1%)、「興味・関心のある学問分野ではないから」2,467人(同50.7%)、「学費が高いから」471人(同9.7%)、「専門学校への進学を希望しているから」389人(同8.0%)、「興味・関心のある分野だが、新設学科へ進学するのは不安だから」280人(同5.8%)、「アクセスが不便だから」283人(同5.8%)などの回答があった。

「興味・関心のある分野だが、新設学科へ進学するのは不安だから」との回答者には、今後、理工学部 of 広報・募集活動を図ることによって、受験・入学の可能性のある者も含まれると推察される。

また、直近5か年のオープンキャンパス参加者数、志願者数、入学者数の推移をみると、保健医療学部が踊り場状況を迎えているものの、オープンキャンパス参加者数、志願者数とも、各学部堅調に推移してきている。

また、学部開設前年度のオープンキャンパス参加者数をみると、2016年度に開設した政治経済学部が87名であったところ、当初2019年度開設予定であった理工学部は396名と、4倍を超える数にのぼっており、高校生の興味・関心の高さがうかがえる。

また、政治経済学部は、開設後、年々、オープンキャンパス参加者数、志願者数を伸ばし続けており、理工学部においても、開設後の認知の広がりにより、さらにニーズが高まるものと見込まれる。

これら既設学部のオープンキャンパス参加者数、志願者数増加、入学者数確保の実績、また、JR大阪駅から約20分以内でキャンパスにアクセス可能という好立地も鑑みると、入学定員230名、収容定員920名の学生確保は十分できるものと考ええる。

(※ 資料5 「大和大学「理工学部(仮称)」設置に係る学生確保の見直し調査(新設構想についての高校生アンケート調査)報告書」参照)

(※ 資料6 直近5か年 オープンキャンパス参加者数・志願者数の推移)

③ 学生納付金の設定の考え方

学生納付金の設定にあたって、安定的な志願者、入学者の確保、また、適切な教育研究環境を構築するため、近畿地区の理工学系統学部を有する主要私立大学11大学の学生納付金を調査したところ、初年度納付金は、(平均額1,626,384円、最高額1,707,600円、最低額1,434,950円)、入学金(平均額246,250円、最高額300,000円、最低額200,000円)、授業料(平均額1,177,513円、最高額1,384,600円、最低額935,000円)であった。

この調査の結果をふまえ、競合他大学との関係、学生確保の観点、また、財政的な健全性維持の観点から適切な金額設定を検討し、本学理工学部では、以下の学生納付金を設定した。

入学金	180,000 円	
授業料	1,100,000 円	(2年次以降 1,200,000 円)
教育充実費	340,000 円	(2年次以降 350,000 円)

(※ 資料7「近畿地区 主要私立大学 理工学系統学部 学生納付金一覧」参照)

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

認可申請前、認可申請中、認可後の3段階に区分し、それぞれの段階に告知可能な情報の提供、広報展開を図り、学生確保にあたる。

① ホームページ・大学案内

本学ホームページに理工学部ページを開設し、設置予定の理工学部の理念や概要の告知を図る。認可後、公開可能な情報を盛り込み、ホームページの更新し、より具体的な情報提供を行う。

また、本学大学案内に設置予定の理工学部のページを設け、理念や概要の告知を展開する。

② 理工学部専用リーフレット

前述の大学案内の記載は、認可前に公開可能な情報によるものであるため、認可後、公開可能な情報を盛り込んだリーフレットを作成し告知を展開する。

本リーフレットは、学生募集、資料請求者への発送物、オープンキャンパス、説明会、ダイレクトメール等の広報展開において活用する。

③ 各種広報媒体による告知

進学雑誌、Web 広告、検索サイト、新聞広告、交通広告、街頭広告等の各種広報媒体への広報展開を図る。

④ オープンキャンパス・説明会開催

本学オープンキャンパスにおいて、理工学部の全体説明、個別相談を実施し、理工

学部に興味関心を持つ生徒、保護者、教育関係者への説明、直接対話の機会を通して、新設学部に対する理解促進を図る。

2 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本理工学部の基本構想調査において、関西経済連合会、関西主要企業を訪問、産業界が求める人材に関する聞き取りを行った際、企業人事担当者からは「専門的な知識技術より、理学・工学の基礎的な知識、技術をしっかり身につけた学生を育てて欲しい」「専門領域にとどまらない幅広い視野をもった人材が欲しい」との意見を多数受けており、こうした社会、企業現場等、各方面からの要請を踏まえ、理工学科のもとに、理学系分野の数理科学専攻、情報科学専攻、また、工学系分野の機械工学専攻、電気電子工学専攻、建築学専攻の計5専攻を配する体制をとることにより、「理学」「工学」の各専門分野の学びを包括的に捉えるしくみを整えることにした。

この度設置する理工学部では、『理工基礎力、各専門分野の知識、技術とともに、「理学」「工学」領域を俯瞰的に見つめる幅広い視野を身につけることにより、創造性と発想力を発揮して持続可能な社会実現に貢献する科学技術者、研究者の養成』を教育の柱に、以下に掲げる資質、知識、能力を備えた人材を育成する。

- 技術者、研究者としての責任と使命を認識し、豊かな人間性と高い倫理観に基づいた行動をとることができる。
- 理工の基礎力、及び「理学」「工学」領域の他分野に関する知識、技術、能力を基盤に、新たな価値の創造に意欲的に取り組むことができる。
- 「理学」「工学」の素養をもち、専門分野を究めるとともに、専門を超えた分野領域の知識、技術を融合して、複雑化する課題解決にあたることができる。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

全国1,373箇所の建設、電気、ガス、熱供給、水道、製造、通信、IT産業、運輸、郵便等業種の企業（東洋経済新報社「会社四季報」上場・未上場企業より抽出）を対象に、本学理工学部が養成する人材についての人材需要に関する調査を、株式会社高等教育総合研究所に依頼実施し、以下の結果を得た。

○ 人材需要の見通し調査 結果概要

(調査内容)

大和大学が設置する「理工学部」の人材需要の見通しを測定するため、企業 1,153 箇所にアンケート調査を実施。

(調査期間)

2018 年 12 月～2019 年 1 月

(調査対象)

以下業者の企業 1,373 箇所

- ・建設業
- ・電気、ガス、熱供給、水道業
- ・製造業
- ・通信業、IT 関連業
- ・運輸業、郵便業 他

(調査方法)

対象となる企業の採用担当者宛にアンケート調査用紙を送付し、協力可能な場合、回答済のアンケート調査用紙を返送いただく方法により調査実施。

(調査実施数・回答数)

調査実施数： 上記業種企業 1,373 箇所

調査回答数： 226 件（配付 1,373 件に対し回収率 16.5%）

(調査結果)

<分析 1> 回答を得た企業・団体の基本情報

アンケート回答を得た企業等の業種は、「建設業」が最も多く 67 件（全体の 29.6%）、次いで、「IT 関連業」39 件（同 17.3%）、「運輸業、郵便業」23 件（同 10.2%）、製造業（電気機械器具）」15 件（同 6.6%）の合計 19 にわたる幅広い業種から回答を得た。

企業等の所在地は、「大阪」97 件（同 42.9%）、次いで「東京」70 件（同 31.0%）の二大都市を中心に、主に近畿圏の各企業等から回答を得た。

回答企業等の規模は、「100～299 人」が 60 件（同 26.5%）、「500～999 人」58 件（同 25.7%）、「300～499 人」41 件（同 18.1%）であった。

<分析2> 大和大学理工学部が養成する人材の社会的ニーズ

回答を得た企業等 226 件のうち、理工学部の「ニーズは極めて高い」と回答を得た企業等は 124 件（全体の 54.9%）、「ニーズはある程度高い」と回答を得た企業等は 87 件（同 38.5%）と、合計 211 件（同 93.4%）の企業等から、本学理工学部が養成する人材の社会的ニーズは高いという回答を得た。

<分析3> 大和大学理工学部の卒業生の人材需要

回答を得た企業等 136 件のうち、大和大学理工学部の卒業生を「採用したい」という回答が 176 件（全体の 77.9%）あり、それらの企業等から「大和大学理工学部」の卒業生の採用に意欲があるとの回答を得た。

また、これら採用意欲があると回答した企業等に対し、採用可能人数について質問したところ、採用可能人数の合計は入学定員 230 人を上回る 413 人の回答となった。

また、これら大和大学理工学部の卒業生を「採用したい」と回答した 176 件の企業等に、関心のある専攻について質問したところ（複数回答可）、電気電子工学専攻 114 件（同 64.8%）、機械工学専攻 112 件（同 63.6%）、情報科学専攻 78 件（同 44.3%）、建築学専攻 66 件（同 37.5%）という結果となった。

最後に、取得が望ましいと考える資格・免許等について質問したところ、「電気主任技術者（第 1 種）」72 件（同 31.9%）、「基本情報技術者」60 件（同 26.5%）、「一級建築士」48 件（同 21.2%）の順に、本学理工学部で取得を目指す資格・免許等のニーズが高い結果となった。

以上の調査結果から、本学理工学部が養成する人材の需要は高いものと考えらる。

（※ 資料 8 「大和大学「理工学部（仮称）」設置に係る人材需要の見通し調査（新設構想についての人材需要アンケート調査）報告書」参照）

資料目次

- 資料 1 2018 年度 近畿地区 主要私立大学理工系学部 学生募集状況一覧
- 資料 2 2018 年度 全国 私立大学 学部別の入学者・志願者動向
- 資料 3 全国 理工学系学部の過去 10 か年の志願者数推移
- 資料 4 2018 年度 近畿地区 私立大学志願動向
- 資料 5 大和大学「理工学部（仮称）」設置に係る学生確保の見通し調査
（設置構想についての高校生アンケート調査）報告書
- 資料 6 直近 5 か年 オープンキャンパス参加者数・志願者数の推移
- 資料 7 近畿地区 主要私立大学 理工学系学部 学生納付金一覧
- 資料 8 大和大学「理工学部（仮称）」設置に係る人材需要の見通し調査
（設置構想についての人材需要アンケート調査）報告書

資料1 2018年度 近畿地区 主要私立大学理工系学部 学生募集状況一覽

大学名	学部名	学科名	偏差値*		入学定員	入学者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	入学者数に対する志願倍率	
			上限値	下限値								
同志社大学	理工学部	インテリジェント情報工学科	60		83	92	1,195	979	372	3.2	13.0	
		情報システムデザイン学科	60		83	88	1,084	864	273	4.0	12.3	
		電気工学科	57.5		80	84	1,043	791	398	2.6	12.4	
		電子工学科	57.5		86	92	1,318	1,000	543	2.4	14.3	
		機械システム工学科	60		96	101	2,423	2,086	909	2.7	24.0	
		エネルギー機械工学科	57.5		70	72	693	552	358	1.9	9.6	
		機能分子・生命化学科	57.5		83	75	1,173	881	569	2.1	15.6	
		化学システム創成工学科	57.5		83	77	1,398	1,031	581	2.4	18.2	
		環境システム学科	60	57.5	51	55	910	716	398	2.3	16.5	
数理システム学科	60		41	38	633	507	224	2.8	16.7			
立命館大学	理工学部	数理科学科	55	52.5	97	90	1,283	1,241	553	2.3	14.3	
		物理科学科	52.5		86	62	1,139	1,104	516	2.2	18.4	
		電気電子工学科	52.5		154	108	2,552	2,486	918	2.8	23.6	
		電子情報工学科	55		102	87	2,248	2,175	755	3.0	25.8	
		機械工学科	55		173	154	3,528	3,429	1,321	2.7	22.9	
		ロボティクス学科	55		90	86	1,723	1,664	553	3.1	20.0	
		環境都市工学科	52.5		166	156	2,124	2,064	737	2.9	13.6	
建築都市デザイン学科	57.5		91	89	2,396	2,323	546	4.4	26.9			
関西学院大学	理工学部	数理科学科	50		75	80	653	401	272	2.4	8.2	
		物理科学科	52.5	50	75	77	692	428	286	2.4	9.0	
		先進エネルギーナノ工学科	52.5	50	80	54	535	339	236	2.3	9.9	
		化学科	52.5		75	59	700	412	315	2.2	11.9	
		環境・応用化学科	52.5		80	72	619	336	311	2.0	8.6	
		生命科学科	52.5		80	74	612	343	294	2.1	8.3	
		生命医化学科	52.5		80	69	558	296	286	2.0	8.1	
		情報科学科	55	52.5	75	82	909	559	246	3.7	11.1	
		人間システム工学科	52.5		80	98	659	411	216	3.1	6.7	
関西大学	システム理工学部	数学学科	55	52.5	33		664	653	211	3.1	17.5	
		物理・応用物理学科	55	52.5	66		1,060	1,023	324	3.3		
		機械工学科	55	52.5	220		3,590	3,506	1,009	3.6		
		電気電子情報工学科	55		182		3,304	3,205	805	4.1		
	環境都市工学部	建築学科	55	57.5	105		2,581	2,519	375	6.9	15.7	
		都市システム工学科	55	52.5	132	325	324	1,558	1,519	404		3.9
	化学生命工学部	化学・物質工学科	55	52.5	242	347	360	2,665	2,592	955	2.8	13.5
生命・生物工学科		55	52.5	105			2,183	2,108	661	3.3		
京都産業大学	理学部	数理科学科	52.5		55	55	1,005	958	135	7.4	18.3	
		物理科学科	52.5		40	135	35	778	736	99	7.9	22.2
		宇宙物理・気象学科	55	52.5	40		35	1,794	1,697	136	13.2	51.3
	情報理工学部	情報理工学科	55	52.5	160	160	134	4,210	4,038	272	15.5	31.4
		生命システム学科	55		45		41	1,077	1,029	106	10.2	26.3
	総合生命科学部*	生命資源環境学科	52.5		35	115	27	1,090	997	114	9.6	40.4
		動物生命医科学科	52.5	42.5	35		29	955	900	85	11.2	32.9
近畿大学	理工学部	理学科－数学コース	52.5	50	70			1,606	1,245	287	5.6	23.8
		理学科－物理学コース	50		70		205	1,402	1,005	361	3.9	
		理学科－化学コース	52.5	50	85			1,879	1,346	319	5.9	
		生命科学科	50		95		89	2,321	1,692	484	4.8	
		応用化学科	50		130		156	2,646	1,751	849	3.1	
		機械工学科	52.5	50	200		164	4,652	3,469	679	6.9	
		電気電子工学科	52.5	50	190		162	3,861	2,773	757	5.1	
		社会環境工学科	50		100		87	1,807	1,346	281	6.4	
		情報学科	52.5	50	190		205	4,351	3,237	698	6.2	
	建築学部	建築学科	55		280	280	293	6,736	5,686	692	9.7	23.0
龍谷大学	理工学部	数理情報学科	45		95		82	575	511	196	2.9	7.0
		電子情報学科	45		95		91	840	727	240	3.5	9.2
		機械システム工学科	45		105	580	98	1,042	908	266	3.9	10.6
		物質化学科	45	42.5	95		84	642	580	265	2.4	7.6
		情報メディア学科	45	42.5	95		104	755	672	187	4.0	7.3
		環境ソリューション工学科	45	42.5	95		80	421	364	171	2.5	5.3
甲南大学	理工学部	物理学科	45	47.5	50	155	55	646	633	192	3.4	11.7
		生物学科	47.5	50	45		45	562	539	164	3.4	12.5
		機能分子化学科	45		60		78	548	531	232	2.4	7.0
	フロンティアサイエンス学部	生命化学科	47.5	50	45	45	45	482	474	153	3.2	10.7

*河合塾第3回全統マーク模試予想ボーダー(京都産業大学総合生命科学部を除く)

*京都産業大学総合生命科学部は2018年度実態ボーダー

資料2 2018年度 全国 私立大学 学部別の入学者・志願者動向

主な学部別の志願者・入学者動向（大学）

学部名称の表記は、集計数3以上の学部とし、集計数2以下は「その他」とした。

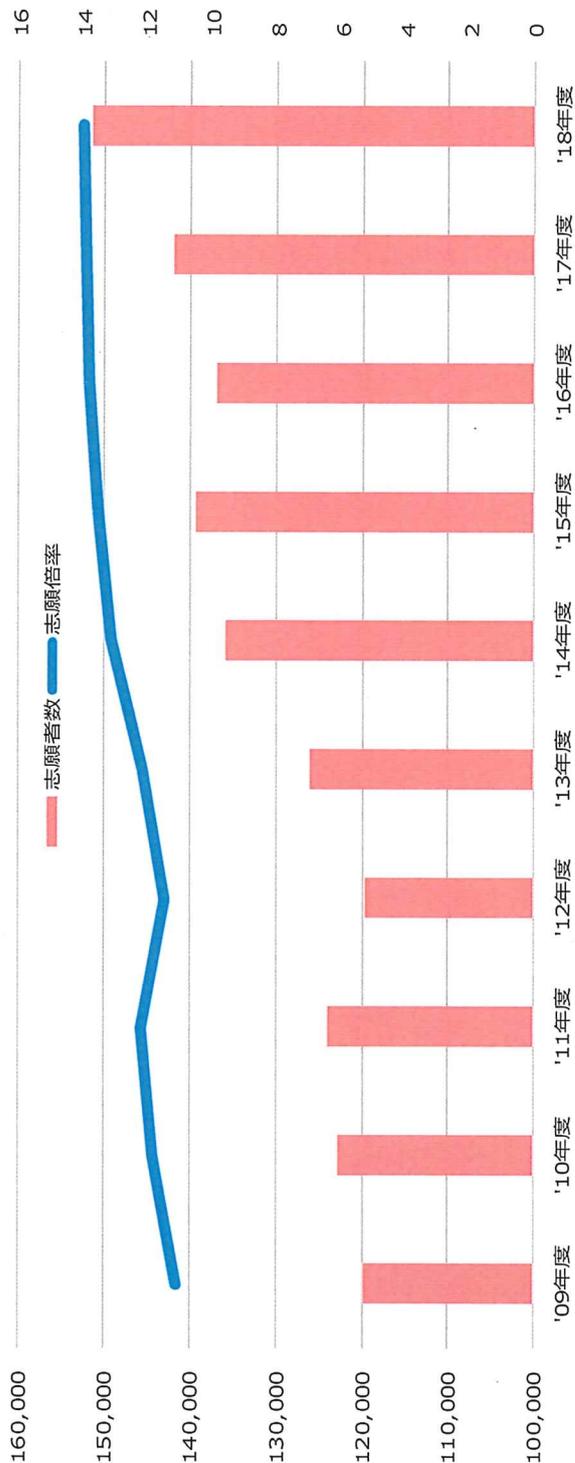
区 分 学 部 名	集計学部数			入学定員(人)			志願者(人)			入学者数(人)			入学定員充足率(%)		
	29年度	30年度	増減	29年度	30年度	増減	29年度	30年度	増減	29年度	30年度	増減	29年度	30年度	増減
医学	31	31	0	3,993	4,100	107	114,359	118,463	4,104	4,025	4,134	109	100.80	100.83	0.03
歯学	17	17	0	2,063	2,063	0	9,270	9,332	62	1,687	1,677	△ 10	81.77	81.29	△ 0.48
薬学	57	57	0	11,517	11,451	△ 66	101,109	96,008	△ 5,101	11,482	10,949	△ 533	99.70	95.62	△ 4.08
保健系	209	220	11	32,850	34,307	1,457	179,961	185,322	5,361	33,560	34,669	1,109	102.16	101.06	△ 1.10
看護学部	88	95	7	8,112	8,819	707	48,762	56,612	7,850	8,708	9,402	694	107.35	106.61	△ 0.74
保健医療学部	32	32	0	5,795	6,000	205	25,621	26,979	1,358	5,967	6,128	161	102.97	102.13	△ 0.84
リハビリテーション学部	10	11	1	915	1,165	250	3,812	4,876	1,064	889	1,214	325	97.16	104.21	7.05
医療保健学部	8	8	0	1,810	1,820	10	10,424	8,713	△ 1,711	1,759	1,733	△ 26	97.18	95.22	△ 1.96
保健科学部	6	6	0	1,315	1,225	△ 90	6,558	5,188	△ 1,370	1,325	1,268	△ 57	100.76	103.51	2.75
医療学部	4	4	0	420	375	△ 45	510	454	△ 56	314	285	△ 29	74.76	76.00	1.24
栄養学部	4	4	0	897	897	0	4,521	4,129	△ 392	877	841	△ 36	97.77	93.76	△ 4.01
医療福祉学部	4	4	0	1,096	1,066	△ 30	2,461	2,234	△ 227	853	818	△ 35	77.83	76.74	△ 1.09
医療技術学部	3	3	0	1,865	1,755	△ 110	12,034	12,234	200	2,045	1,781	△ 264	109.65	101.48	△ 8.17
看護栄養学部	3	3	0	437	437	0	1,912	1,631	△ 281	455	496	41	104.12	113.50	9.38
看護福祉学部	3	3	0	600	600	0	2,896	2,700	△ 196	608	558	△ 50	101.33	93.00	△ 8.33
医療科学部	3	3	0	1,040	1,040	0	5,713	5,965	252	1,101	1,092	△ 9	105.87	105.00	△ 0.87
保健福祉学部	3	3	0	695	695	0	1,670	1,659	△ 11	695	653	△ 42	100.00	93.96	△ 6.04
ヒューマンケア学部	3	3	0	617	657	40	5,144	4,790	△ 354	608	640	△ 40	111.51	98.63	△ 12.88
その他	35	38	3	7,236	7,756	520	47,923	47,158	△ 765	7,276	7,752	476	100.55	99.95	△ 0.60
理・工学系	149	150	1	61,579	61,917	338	694,118	728,042	33,924	64,685	62,876	△ 1,809	105.04	101.55	△ 3.49
工学部	51	49	△ 2	23,934	22,954	△ 980	212,013	223,270	10,357	25,183	23,767	△ 1,416	105.22	103.54	△ 1.68
理工学部	30	30	0	18,545	18,681	136	258,262	265,199	6,937	19,333	18,568	△ 765	104.25	99.40	△ 4.85
理学部	13	13	0	4,316	4,354	38	43,104	44,580	1,476	4,429	4,271	△ 158	102.62	98.09	△ 4.53
生命科学部	7	7	0	1,726	1,761	35	24,133	22,939	△ 1,194	1,731	1,679	△ 52	100.29	95.34	△ 4.95
建築学部	3	5	2	865	1,315	450	25,555	26,102	547	910	1,424	514	105.20	108.29	3.09
情報科学部	4	4	0	1,046	1,046	0	19,740	22,036	3,096	1,139	1,075	△ 64	108.89	102.77	△ 6.12
デザイン工学部	4	4	0	1,007	1,066	59	13,329	14,061	732	1,128	1,103	△ 25	112.02	103.47	△ 8.55
その他	37	38	1	10,140	10,740	600	97,082	109,055	11,973	10,832	10,989	157	106.82	102.32	△ 4.50
農学系	18	21	3	7,741	8,309	568	85,357	83,392	△ 1,965	8,174	8,256	82	105.59	99.36	△ 6.23
農学部	7	8	1	3,021	3,209	188	49,596	46,802	△ 2,794	3,088	3,065	△ 23	102.22	95.51	△ 6.71
獣医学部	3	4	1	770	970	200	10,315	13,121	2,806	901	1,026	125	117.01	105.77	△ 11.24
その他	8	9	1	3,950	4,130	180	25,446	23,469	△ 1,977	4,185	4,165	△ 20	105.95	100.85	△ 5.10
人文科学系	240	245	5	69,921	69,738	△ 183	556,791	616,582	59,791	73,806	72,518	△ 1,288	105.56	103.99	△ 1.57
文学部	86	85	△ 1	34,525	33,925	△ 600	305,973	337,616	31,643	37,128	35,632	△ 1,496	107.54	105.03	△ 2.51
人文学部	32	33	1	7,115	7,010	△ 105	37,757	39,038	1,281	7,038	7,156	118	98.92	102.08	3.16
外国語学部	28	28	0	9,991	9,838	△ 153	82,802	91,261	8,459	10,808	10,511	△ 297	108.18	106.84	△ 1.34
心理学部	14	16	2	2,185	2,723	538	17,324	23,026	5,702	2,405	2,935	530	110.07	107.79	△ 2.28
人間学部	13	13	0	2,810	2,810	0	8,616	10,261	1,645	2,467	2,662	195	87.79	94.73	6.94
国際文化学部	8	9	1	1,549	1,585	36	10,910	11,215	305	1,607	1,532	△ 75	103.74	96.66	△ 7.08
神学部	6	6	0	180	183	3	1,101	1,052	△ 49	186	165	△ 21	103.33	90.16	△ 13.17
仏教学部	5	5	0	487	487	0	2,216	2,253	37	496	506	10	101.85	103.90	2.05
グローバル・コミュニケーション学部	5	5	0	880	888	8	4,537	5,615	1,078	958	961	3	108.86	100.22	△ 0.64
人間関係学部	5	5	0	1,080	1,060	△ 20	3,450	3,911	461	1,065	1,104	39	98.61	104.15	5.54
現代文化学部	4	5	1	730	825	95	1,711	1,895	184	804	834	30	110.14	101.09	△ 9.05
文芸学部	3	3	0	1,240	1,240	0	21,079	22,505	1,426	1,430	1,202	△ 228	115.32	96.94	△ 18.38
その他	31	30	△ 1	7,149	7,164	15	59,315	66,934	7,619	7,414	7,318	△ 96	103.71	102.15	△ 1.56
社会科学系	515	513	△ 2	168,025	169,202	1,177	1,421,465	1,557,832	136,367	179,664	176,801	△ 2,863	106.93	104.49	△ 2.44
経済学部	92	91	△ 1	39,406	40,016	610	374,884	412,231	37,347	43,079	41,707	△ 1,372	109.32	104.23	△ 5.09
経営学部	82	80	△ 2	25,796	25,431	△ 365	239,665	268,888	29,223	27,888	27,037	△ 851	108.11	106.32	△ 1.79
法学部	80	80	0	30,725	31,025	300	270,949	285,472	14,523	32,967	32,537	△ 430	107.30	104.87	△ 2.43
商学部	31	30	△ 1	14,529	14,598	69	124,724	132,345	7,621	15,363	15,537	174	105.74	106.43	0.69
社会学部	21	23	2	7,733	8,070	337	84,765	102,179	17,414	8,531	8,294	△ 237	110.32	102.78	△ 7.54
社会福祉学部	22	22	0	4,424	4,174	△ 250	12,079	12,597	518	4,096	3,977	△ 119	92.59	95.28	2.69
総合政策学部	13	13	0	3,210	3,175	△ 35	27,128	29,657	2,529	3,235	3,206	△ 29	100.78	100.98	0.20
人間社会学部	13	13	0	3,260	3,305	45	13,840	14,322	482	3,233	3,389	156	99.17	102.54	3.37
現代社会学部	12	12	0	2,745	2,745	0	23,210	25,164	1,954	2,736	2,867	131	99.67	104.44	4.77
経営情報学部	11	11	0	2,262	2,292	30	5,707	6,728	1,021	2,304	2,392	88	101.86	104.36	2.50

資料3 全国 理工学系学部の過去10か年の志願者数推移

志願者数09年度比、約126%。志願者倍率も増加傾向にあり。

理工分野マーケット状況

	'09年度	'10年度	'11年度	'12年度	'13年度	'14年度	'15年度	'16年度	'17年度	'18年度
志願者数	119,935	122,772	124,013	119,729	126,064	135,807	139,327	136,965	141,873	151,535
志願倍率	11.1	11.8	12.2	11.4	12.1	13.1	13.6	13.8	13.9	14.0



出典：リクルート入試実態2018

資料4 2018年度 近畿地区 私立大学志願動向

系統別志望動向

【理学系】

(注)一般方式+センタ方式で集計

詳細系統	募集人員	志望者全体			現役			女子		
		昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比
数学・数理情報	261	4,715	4,902	104%	4,216	4,347	103%	950	875	92%
物理	248	3,066	3,066	100%	2,692	2,651	98%	623	559	90%
化学	288	2,530	2,657	105%	2,230	2,324	104%	925	967	105%
生物	348	3,219	3,476	108%	2,755	2,981	108%	1,623	1,817	112%
地学・他										
系統全体	1,145	13,530	14,101	104%	11,893	12,303	103%	4,121	4,218	102%

【工学系】

詳細系統	募集人員	志望者全体			現役			女子		
		昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比
機械・航空	1,073	13,055	12,840	98%	11,432	11,267	99%	964	1,006	104%
電気・電子	791	7,452	8,207	110%	6,519	7,077	109%	535	641	120%
通信・情報	1,361	9,589	10,949	114%	8,594	9,575	111%	1,430	1,568	110%
建築	606	6,921	7,054	102%	6,309	6,530	104%	2,023	2,280	113%
土木・環境	604	5,578	5,363	96%	4,897	4,667	95%	1,415	1,368	97%
応用化学	302	2,262	2,284	101%	2,015	2,025	100%	688	748	109%
材料・物質・資源	251	2,345	2,309	98%	1,946	1,893	97%	710	715	101%
生物工	384	3,268	3,249	99%	2,926	2,889	99%	1,341	1,450	108%
経営・管理	57	42	62	148%	42	59	140%	10	23	230%
その他の工学系	281	1,391	1,499	108%	1,320	1,410	107%	488	532	109%
系統全体	5,710	51,903	53,816	104%	46,000	47,392	103%	9,604	10,331	108%

【農学系】

詳細系統	募集人員	志望者全体			現役			女子		
		昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比
生物生産・応用生命	461	3,909	3,905	100%	3,618	3,601	100%	1,769	1,775	100%
環境科学・経済システム	165	792	771	97%	731	716	98%	289	343	119%
獣医										
酪農・畜産										
水産	63	1,143	1,003	88%	985	867	88%	310	209	67%
系統全体	689	5,844	5,679	97%	5,334	5,184	97%	2,368	2,327	98%

【医・歯・薬・保健学系】

詳細系統	募集人員	志望者全体			現役			女子		
		昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比
医	394	6,080	5,583	92%	2,383	2,317	97%	2,876	2,625	91%
歯	82	374	367	98%	273	275	101%	198	172	87%
薬	1,303	12,724	11,602	91%	11,353	10,418	92%	8,654	8,109	94%
看護	1,738	15,698	15,370	98%	15,070	14,723	98%	14,655	14,473	99%
医療技術	1,615	7,533	7,956	106%	7,384	7,761	105%	4,376	4,493	103%
保健・福祉	160	335	355	106%	323	345	107%	307	316	103%
系統全体	5,292	42,744	41,233	96%	36,786	35,839	97%	31,066	30,188	97%

【生活科学系】

詳細系統	募集人員	志望者全体			現役			女子		
		昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比
食物・栄養	1,247	9,150	8,418	92%	8,903	8,198	92%	8,546	7,845	92%
被服	63	150	124	83%	148	121	82%	150	123	82%
児童	162	590	490	83%	573	481	84%	520	451	87%
住居・生活環境	134	993	1,107	111%	952	1,070	112%	926	1,046	113%
家政・生活科学	307	1,791	1,874	105%	1,727	1,808	105%	1,784	1,867	105%
系統全体	1,913	12,674	12,013	95%	12,303	11,678	95%	11,926	11,332	95%

資料 5

大和大学

「理工学部（仮称）」

設置に係る学生確保の見通し調査

（設置構想についての高校生アンケート調査）

報告書

目次

1. 「設置構想についての高校生アンケート調査」概要	3
2. 「設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果	4
3. 「設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果のポイント	7
添付資料	
「設置構想についての高校生アンケート調査」	9

1. 「設置構想についての高校生アンケート調査」概要

大和大学が2020年度、設置予定の「理工学部（仮称）」における学生確保の見通しを測定するために、2020年度に大学進学時期を迎える高校2年生を対象に「設置構想についての高校生アンケート調査」（無記名式）を実施した。大阪府を中心とした近畿地方の計71校の高校生5,521人から回答を得て集計した結果、「理工学部（仮称）」が予定する入学定員230名の約2.5倍にあたる計587名（「合格した場合、入学したい」239人、「合格した場合、併願先の結果によっては入学したい」348名）から入学意志を示す回答を得た。

調査対象	2020年度の大学入試を受験する可能性が最も高い高校2年生（2020年3月卒業予定者）をアンケートの対象とした。大和大学に志願者・入学者が多い大阪府を中心とした近畿地方の実績校にアンケート実施を依頼し、71校にご協力いただいた。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答者の基本情報（居住地、性別、高校卒業後の希望進路、関心のある学問分野） ● 大和大学「理工学部（仮称）」の受験・入学意向 以上、全9問ですべて選択肢式。
調査時期	2018年10月～2019年2月
調査方法	アンケート実施の了承が得られた高校に高校生アンケート用紙（必要部数）を送付。各校の教職員から調査対象者（高校2年生）にアンケート用紙を配布の上、10分程度の回答時間を設け、その場で回収いただいた。
回収件数	有効回答数 5,521件

実施高校の県別内訳

	公立	私立	合計	割合
滋賀県	2	0	2	2.8%
京都府	1	2	3	4.2%
大阪府	20	14	34	47.9%
兵庫県	10	3	13	18.3%
奈良県	10	6	16	22.5%
和歌山県	3	0	3	4.2%
合計	46	25	71	100.0%
割合	64.8%	35.2%	100.0%	

在籍高校所在地別の回収件数

	公立	私立	合計	割合
滋賀県	196	0	196	3.6%
京都府	33	121	154	2.8%
大阪府	1,177	1,103	2,280	41.3%
兵庫県	800	220	1,020	18.5%
奈良県	765	807	1,572	28.5%
和歌山県	299	0	299	5.4%
合計	3,270	2,251	5,521	100.0%
割合	59.2%	40.8%	100.0%	

→ 配布した「設置構想についての高校生アンケート調査」用紙は9ページ【添付資料】参照。

2. 「設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。(あてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 滋賀県	209	3.8%
2. 京都府	189	3.4%
3. 大阪府	2,439	44.2%
4. 兵庫県	1,080	19.6%
5. 奈良県	1,252	22.7%
6. 和歌山	308	5.6%
7. その他	20	0.4%
(無回答)	24	0.4%
合計	5,521	100.0%

問2 あなたの性別をお答えください。(あてはまるものにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 男性	3,332	60.4%
2. 女性	2,154	39.0%
(無回答)	35	0.6%
合計	5,521	100.0%

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。(最もあてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 進学	4,984	90.3%
2. 就職	253	4.6%
3. 現時点では未定	251	4.5%
(無回答)	33	0.6%
合計	5,521	100.0%

問4 あなたが関心のある学問分野をお答えください。(あてはまるものすべてにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 理学・工学(数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など)	2,386	43.2%
2. 農学(農学、農業経済学、林学、水産学など)	559	10.1%
3. 医学・歯学・薬学	807	14.6%
4. 保健衛生学(看護学、臨床検査学、リハビリ、放射線など)	900	16.3%
5. 家政学(生活科学、食物学、住居学、被服学など)	356	6.4%
6. 人文科学(文学、史学、哲学、心理学、外国語学など)	835	15.1%
7. 社会科学(法学・政治学、商学・経営学、経済学、社会学など)	920	16.7%
8. 芸術学(音楽、デザイン、美術など)	593	10.7%
9. 教育学・教員養成(幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育など)	781	14.1%
10. その他	219	4.0%

※ 問4は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 5,521 人 (全回答者の人数)

問5以降は別紙 大和大学「理工学部（仮称）」の概要を見た上での回答を求めた。

問5 あなたは大和大学が設置構想中の「理工学部（仮称）」を受験したいと思いますか。
（あてはまるもの1つにチェック）

選択項目	回答数	構成比
1. 受験したい	592	10.7%
2. 受験しない	4,862	88.1%
（無回答）	67	1.2%
合計	5,521	100.0%

以下の問6・問7は、問5で「1. 受験したい」を選択した高校生（592人）のみが回答対象である。

問6 あなたは大和大学が設置構想中の「理工学部（仮称）」を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つにチェック）

選択項目	回答数	構成比
1. 合格した場合、入学したい	239	40.4%
2. 合格した場合、併願先の結果によっては入学したい	348	58.8%
（無回答）	5	0.8%
合計	592	100.0%

問7 大和大学が設置構想中の「理工学部（仮称）」において、あなたが希望する専攻をお選びください。
（最もあてはまるもの1つにチェック）

選択項目	回答数	構成比
1. 数理学専攻	89	15.2%
2. 情報科学専攻	119	20.3%
3. 機械工学専攻	74	12.6%
4. 電気電子工学専攻	54	9.2%
5. 建築学専攻	133	22.7%
6. 現時点では未定	107	18.2%
（無回答）	11	1.9%
合計	587	100.0%

次の問8・9は、問5で「2. 受験しない」を選択した高校生（4,862人）のみが回答対象

問8 大和大学が設置構想中の「理工学部（仮称）」をあなたが「受験しない」とされた理由をお答えください。（あてはまるものすべてにチェック）

選択項目	回答数	構成比
1. 興味・関心のある学問分野ではないから	2,467	50.7%
2. 他大学への進学を希望しているから	2,486	51.1%
3. 短期大学への進学を希望しているから	85	1.7%
4. 専門学校への進学を希望しているから	389	8.0%
5. 就職を希望しているから	232	4.8%
6. 興味・関心のある学問分野だが、新設学科への進学は不安だから	280	5.8%
7. アクセスが不便だから	283	5.8%
8. 学費が高いから	471	9.7%
(無回答)	0	0.0%

※ 問8は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 4,862人（問5で2を選択した者）

問9 以下は現在、大和大学に設置されている学部・学科・専攻となります。あなたが受験したいと思うものがあればお答えください。（あてはまるものすべてにチェック）

学部	選択項目	回答数	構成比
教育学部	1. 初等幼児教育専攻	339	7.0%
	2. 国語教育専攻	147	3.0%
	3. 数学教育専攻	315	6.5%
	4. 英語教育専攻	227	4.7%
保健医療学部	5. 看護学科	560	11.5%
	6. 理学療法専攻	467	9.6%
	7. 作業療法専攻	179	3.7%
	8. 言語聴覚専攻	105	2.2%
政治経済学部	9. 政治行政学科	161	3.3%
	10. 経済経営学科	557	11.5%

※ 問8は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 4,862人（問5で2を選択した者）

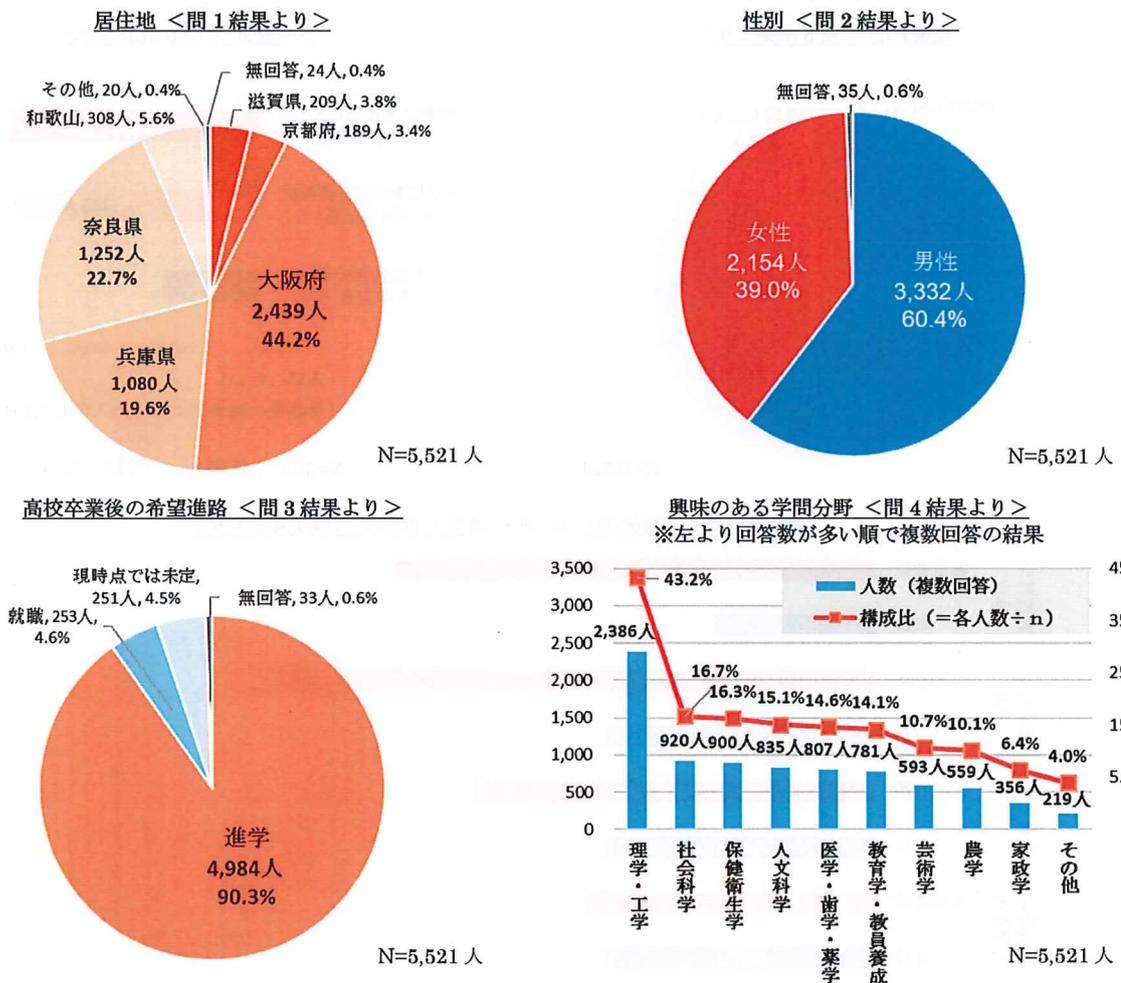
3. 「設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

Point 1 大和大学が学生確保の基盤とする大阪府を中心とした近畿地方の高校生 5,521 人が回答し、そのうち 4 割強が「理学・工学」に興味を示す。

大和大学が 2020 年度に設置予定の「理工学部（仮称）」に係る「設置構想についての高校生アンケート調査」において、有効回答 5,521 件の集計を行った。その結果、回答者を居住地別にみると、大阪府が 2,439 人（全体の 44.2%）で全体の 4 割強を占めた。性別では「男性」3,332 人（同 60.4%）、「女性」2,154 人（同 39.0%）であった。高校卒業後の希望進路については、「進学」が 4,984 人（同 90.3%）で全体の 9 割を占めた。関心のある学問分野については、最も多かったのが「理学・工学」分野の 2,386 人（同 43.2%）で全体の 4 割強を占めることから、理系分野への進学を検討する高校生が回答者に多く含まれていることがうかがえる（関心のある学問分野は複数回答の結果）。

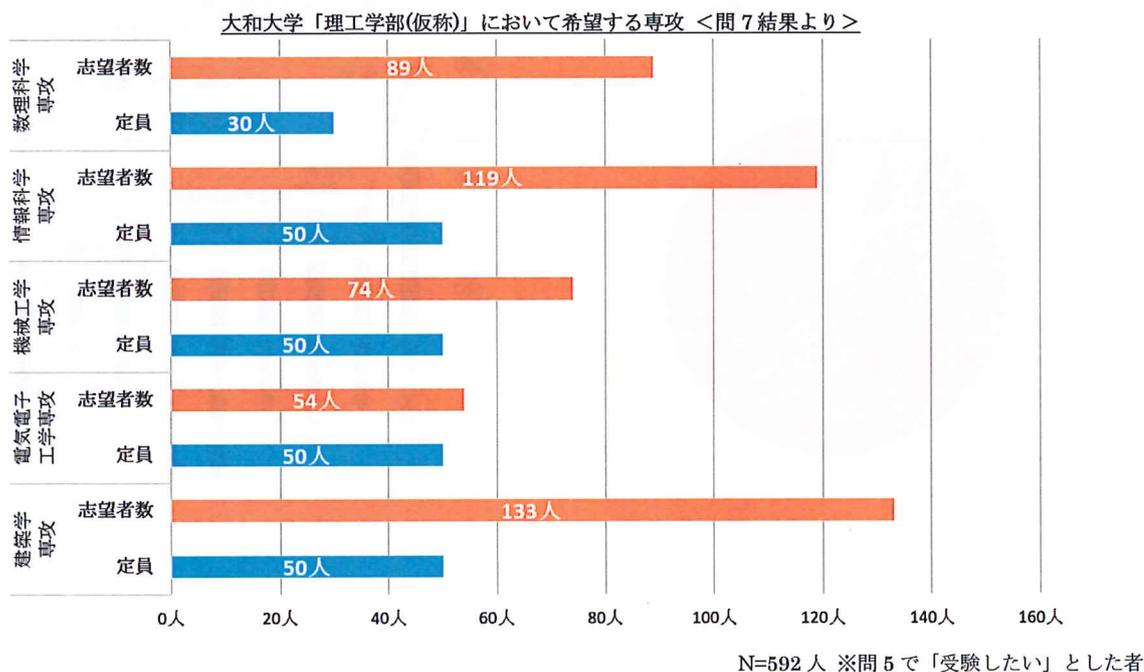
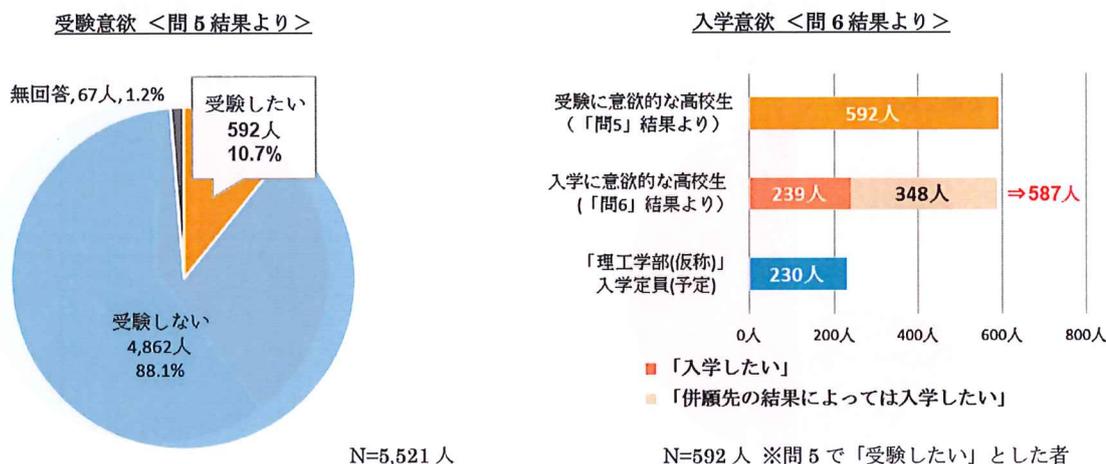
【グラフ】回答者の属性



Point 2 「理工学部（仮称）」に対し入学定員 230 名（予定）の 2.6 倍の 592 人が受験希望。
 そのうち 239 人が強い入学意欲を示し、他 348 人も併願先の結果により入学との意思。

大和大学が設置を予定する「理工学部（仮称）」の概要を示し、受験・入学意欲について回答を求めた。その結果、592 人（全体の 10.7%）が「理工学部（仮称）」を「受験したい」と回答した。さらに、「受験したい」と回答した 592 人のうち、239 人が「合格した場合、入学したい」、348 人が「合格した場合、併願先の結果によっては入学したい」と回答した。「合格した場合、入学したい」とした 239 人のみで、「理工学部（仮称）」が予定する入学定員 230 名を上回り、また「合格した場合、併願先の結果によっては入学したい」とした者を加えると、入学定員の 2.5 倍の 587 人が入学意欲を示す結果となった（受験意欲を示した 592 人のうち 5 人は入学意欲に関連する問 6 に無回答）。このように、「理工学部（仮称）」に対しては、入学定員を上回る志願者確保が可能であり、また、強い入学意欲を示すいわゆる専願希望者のみで入学定員を上回ることが明らかとなった。また、いずれの専攻においても予定する定員を上回る志願者が存在することも分かった。

【グラフ】大和大学「理工学部(仮称)」への受験・入学意欲



【添付資料】

「設置構想についての高校生アンケート調査」



問 5 以降は 3 ページ・ 大和大学「理工学部(仮称)」の概要 をご覧の上でお答えください。

問 5 あなたは大和大学が設置構想中の「理工学部(仮称)」を受験したいと思いますか。
(あてはまるもの一つにチェック)

- 受験したい ⇒ 問 6・問 7 にお答えください。
 受験しない ⇒ 問 8・問 9 にお答えください。

以下の問 6・問 7 は、問 5 で「受験したい」と回答した方がお答えください。

問 6 あなたは大和大学が設置構想中の「理工学部(仮称)」を受験し合格した場合、入学したいと思いませんか。(あてはまるもの一つにチェック)

- 合格した場合、入学したい
 合格した場合、併願先の結果によっては入学したい

問 7 大和大学が設置構想中の「理工学部 (仮称)」において、あなたが希望する専攻をお選びください。
(最もあてはまるもの一つにチェック)

- 数理学専攻 情報科学専攻 機械工学専攻 電気電子工学専攻
 建築学専攻 現時点では未定

以下の問 8・問 9 は、問 5 で「受験しない」と回答した方がお答えください。

問 8 大和大学が設置構想中の「理工学部(仮称)」をあなたが「受験しない」とされた理由をお答えください。(あてはまるものすべてにチェック)

- 興味・関心のある学問分野ではないから 他大学への進学を希望しているから
 短期大学への進学を希望しているから 専門学校への進学を希望しているから
 就職を希望しているから
 興味・関心のある学問分野だが、新設学科への進学は不安だから
 アクセスが不便だから 学費が高いから

問 9 以下は現在、大和大学に設置されている学部・学科・専攻となります。あなたが受験したいと思うものがあればお答えください。(あてはまるものすべてにチェック)

【教育学部】

- 初等幼児教育専攻 国語教育専攻 数学教育専攻 英語教育専攻

【保健医療学部】

- 看護学科 理学療法専攻 作業療法専攻 言語聴覚専攻

【政治経済学部】

- 政治行政学科 経済経営学科

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。



以下は大和大学が2020年に新設構想中の「理工学部（仮称）」の概要です。

多彩な研究、国内有数企業による実学講座、国際感覚の修得を通して、未来を「創造」する人材を養成

大和大学 理工学部（仮称） 新設構想中

学部の概要

- 開設時期：2020年4月(予定)
 開設場所：大和大学(大阪府吹田市片山町2-5-1)
 修業年限：4年
 入学定員：230名(数理学専攻30名、情報科学専攻50名、機械工学専攻50名、電気電子工学専攻50名、建築学専攻50名)
 養成する人材：豊かな発想力・創造力と理工学の深い知識をもち、幅広くものごとを捉えて、高い責任感と倫理観、国際感覚のもとに、新しい科学技術の創成やその利用に関するさまざまな領域で、ものづくりや研究開発、ビジネスに活躍する人材。

【学科・専攻編成】

学科名 ※仮称	専攻名 ※すべて仮称	カリキュラム例
理工学部 (入学定員230名)	数理学専攻	代数学(群論・環論・体論, ガロア理論) 幾何学(多様体論, 位相空間論)、解析学(関数解析学, 微分方程式論)、応用数学(数値解析)、統計科学(数理統計学)など
	情報科学専攻	情報数理、プログラミング言語、ソフトウェア工学、データ科学とデータ分析、人工知能など
	機械工学専攻	機械力学、材料力学、流体力学、熱工学、設計工学、制御工学、ロボティクス、産業・交通機械工学など
	電気電子工学専攻	電気電子回路、固体電子物性、半導体工学、発電工学、電気通信システム、コンピュータアーキテクチャなど
	建築学専攻	建築計画学、建築設計製図、住環境論、建築環境学、建築構造工学、耐震設計法、建築材料学など

- 上記「カリキュラム例」は各専攻の専門教育科目
- 数学、物理の専門基礎教育科目は学部内共通
- 複数専攻で履修する科目、専攻を越えて履修できる選択科目を設定
- 4年次に卒業研究を実施

【卒業後の進路】

- 公務員、教員等及び、精密機械、産業機械、自動車、電機、ソフト・ハードのICT等のメーカー企業、交通運輸、情報通信、エネルギーなど基幹インフラ分野の企業、建設ゼネコン、住宅メーカー、建築設計、等の企業への就職
- 将来の新しい技術の研究開発などにたずさわる研究者、高度技術者をめざした国公立大学院の理工系研究科への進学

【学部内共通の特色】

- 魅力的な理工系の専門分野の協同・融合型教育
- 自由な発想で「ものづくり・創造する力」をはぐくむ多彩な研究
- 理工学の力を基礎から育て伸張させる確かなカリキュラムと指導力
- 国内有数企業約30社による実学講座
- 就職・国公立大学院進学を強力にサポート
- 運用力を確実に身につける英語教育
- 国際感覚を身につける海外留学・研修

【取得をめざす資格(予定)】

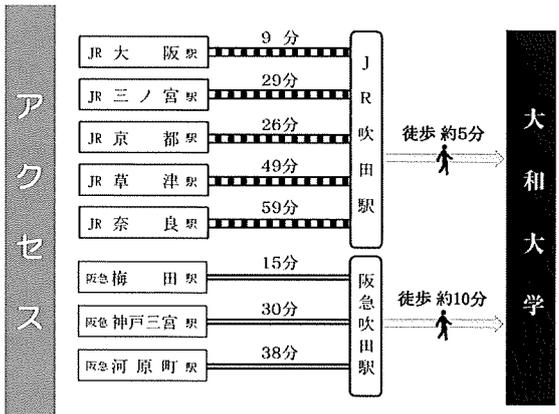
中学校・高等学校教諭一種免許状(数学)、電気主任技術者(第1種)、陸上特殊無線技士、海上特殊無線技士、電気通信主任技術者、陸上無線技術士、一級建築士(卒業後2年の実務経験で受験資格)、インテリアプランナー、ボイラー・タービン主任技術者(卒業後6年の実務経験)、基本情報技術者 など
 ※専攻により取得できない場合があります。

学部の特色 及び 卒業後の進路

初年度学費(他大学との比較)

大学名・学部名・学科名 所在地	入学金	授業料等	初年度 学費
大和大学 理工学部(仮称) 大阪府吹田市片山町2-5-1	180,000	1,420,000	1,600,000
関西大学 システム理工学部 大阪府吹田市山手町3-3-35	260,000	1,453,000	1,713,000
近畿大学 理工学部 大阪府東大阪市小若江3-4-1	250,000	1,442,000	1,692,000
関西学院大学 理工学部 兵庫県三田市学園2-1	200,000	1,457,000	1,657,000

※大和大学 理工学部(仮称)の学費は2020年度予定です。
 ※他大学の学費は2018年11月時点の各大学ホームページ掲載情報です。
 ※その他、各大学とも諸会費が別途必要となる場合があります。



上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

資料6 直近5か年 オープンキャンパス参加者数・志願者数の推移

○参加者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
教育学部	475	546	647	893	900
保健医療学部	874	1016	1305	1367	1112
政治経済学部	—	87	287	308	402
理工学部	—	—	—	—	396

(人)

○志願者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
教育学部	1419	1728	1801	2144	3494
保健医療学部	1517	2826	3071	3197	2852
政治経済学部	—	883	1361	1526	2057
理工学部	—	—	—	—	—

(人)

○入学者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
教育学部	164	164	209	198	—
保健医療学部	239	199	238	233	—
政治経済学部	—	124	137	135	—
理工学部	—	—	—	—	—

(人)

資料7 近畿地区 主要私立大学 理工系学部 学生納付金一覧

※主に本学と同系統学科記載

大学名	学部名	偏差値	区分	初年度学費				
				入学金	授業料	教育充実費 実験実習費	諸経費等	合計
関西大学	システム理工学部	機械工学科 電気電子情報工学科	理工系	260,000	1,453,000		27,000	1,740,000
	環境都市工学部	建築学科 都市システム工学科	理工系	260,000	1,453,000		27,000	1,740,000
関西学院大学	理工学部	情報科学科	理工系	200,000	1,085,000	372,000		1,657,000
立命館大学	理工学部	数理科学科	理工系	300,000	1,328,600		23,000	1,651,600
		電気電子工学科 機械工学科 建築都市デザイン工学科	理工系	300,000	1,328,600		23,000	1,651,600
	情報理工学部	情報理工学科	理工系	300,000	1,384,600		23,000	1,707,600
同志社大学	理工学部	数理システム学科	理工系	200,000	1,208,000	245,000	2,000	1,655,000
		電気工学科 電子工学科 機械システム工学科 情報システムデザイン学科	理工系	200,000	1,208,000	303,000	2,000	1,713,000
近畿大学	理工学部	機械工学科 電気電子工学科 情報学科	理工系	250,000	1,442,000		26,500	1,718,500
	建築学部	建築学科	理工系	250,000	1,442,000		26,500	1,718,500
甲南大学	理工学部 知能情報学部	物理学科 生物学科 機能分子化学科 知能情報学科	理工系	300,000	1,284,000		32,500	1,616,500
京都産業大学	理学部	数理科学科	理工系	270,000	989,000	175,000	19,500	1,453,500
		物理化学科 宇宙物理・気象学科	理工系	270,000	989,000	245,000	19,500	1,523,500
	情報理工学部	情報理工学科	理工系	270,000	989,000	245,000	19,500	1,523,500
龍谷大学	理工学部	数理情報学科 電気情報学科 機械システム工学科 情報メディア学科	理工系	200,000	979,000	283,600	33,000	1,495,600
大阪工業大学	工学部 ロボティクス&デザイン工学科 情報科学部	建築学科 機械工学科 電気電子システム工学科 ロボット工学科 情報システム学科	理工系	250,000	1,260,000	100,000	14,000	1,624,000
摂南大学	理工学部	建築学科(45) 機械工学科(42.5) 電気電子工学科(42.5)	理工系	250,000	1,260,000	100,000	13,700	1,623,700
大阪産業大学	デザイン工学部 工学部	建築・環境デザイン学科(40) 情報システム学科(40) 機械工学科(40) 電子情報通信工学科(40)	理工系	250,000	1,052,000	128,000	28,400	1,458,400
平均(本学除く)			理工系	254,444	1,229,711	219,660	21,182	1,626,194

資料 8

大和大学

「理工学部（仮称）」

設置に係る人材需要の見通し調査

(設置構想についての人材需要アンケート調査)

報告書

目次

1. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」 概要	3
2. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」 集計結果	4
3. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」 集計結果のポイント	10
添付資料	
「設置構想についての人材需要アンケート調査」	13

1. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」概要

大和大学が2020年度、設置予定の「理工学部（仮称）」における人材需要の見通しを測定するために、「設置構想についての人材需要アンケート調査」（無記名式）を計1,373箇所へ送付した。計226件の有効回答（アンケート調査用紙）を回収の上で集計した結果、**9割超の211箇所が「理工学部（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズを認めるとともに、約8割の176箇所が卒業生の採用意向を示し、入学定員230名を大きく上回る計413人の採用意向**が示された。

調査対象	大和大学「理工学部（仮称）」が養成する理系人材の採用需要が特に見込まれる、近畿圏・首都圏を拠点とする製造業・建設業・通信業およびIT関連業の既設学部の卒業生採用実績がある企業等・求人票送付実績がある企業、計1,373箇所を依頼対象とした。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 問1～3：回答企業等の基本情報（業種、所在地、従業員規模） ● 問4～7：大和大学「理工学部」が育成する人材の社会的ニーズ、採用意向及び取得が望ましい資格、同学科に期待・要望する点について 以上、全7問で主に選択肢式。一部記述を含む。
調査時期	2018年12月～2019年1月
調査方法	調査対象先の採用担当者宛にアンケート調査用紙1部・依頼状・返送用封筒を送付した。ご協力いただける場合、回答済のアンケート調査用紙をご返送いただいた。
回収件数	有効回答数226件（配布1,373件に対し、回収率16.5%）

→ 配布した「設置構想についての人材需要アンケート調査」用紙は13ページ【添付資料】参照。

2. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」集計結果

※「構成比」(%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 貴社・貴機関の主業種として、最もあてはまるものをお答えください。
(最もあてはまるもの一つにチェックをお願いします)

選択項目	回答数	構成比
1. 農業、林業、漁業、鉱業	0	0.0%
2. 建設業	67	29.6%
3. 電気、ガス、熱供給、水道業	0	0.0%
4. 食料品・飲料・たばこ・飼料	3	1.3%
5. 繊維	2	0.9%
6. 化学	7	3.1%
7. 石油製品・石炭製品	1	0.4%
8. 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	15	6.6%
9. 製造業 汎用・生産用・業務用機械用具	13	5.8%
10. 電気機械器具	15	6.6%
11. 情報通信機械用具	2	0.9%
12. 電子部品・デバイス・電子回路	0	0.0%
13. 輸送機械器具	14	6.2%
14. その他	10	4.4%
15. 通信業	3	1.3%
16. IT関連業	39	17.3%
17. 放送、新聞、出版業	0	0.0%
18. 運輸業、郵便業	23	10.2%
19. 金融業・保険業	1	0.4%
20. 卸売業	6	2.7%
21. 小売業	2	0.9%
22. 学術研究、専門・技術サービス	2	0.9%
23. 不動産業、物品賃貸業	0	0.0%
24. 宿泊業・飲食サービス業	0	0.0%
25. 生活関連サービス業、娯楽業	0	0.0%
26. 医療、福祉	0	0.0%
27. 教育、学習支援業	0	0.0%
28. その他サービス	1	0.4%
29. 公務	0	0.0%
30. その他	0	0.0%
(無回答)	0	0.0%
合計	226	100.0%

問2 貴社・貴機関の所在地をお答えください。（あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

選択項目	回答数	構成比
1. 北海道	0	0.0%
2. 青森県	0	0.0%
3. 岩手県	0	0.0%
4. 宮城県	0	0.0%
5. 秋田県	0	0.0%
6. 山形県	0	0.0%
7. 福島県	0	0.0%
8. 茨城県	1	0.4%
9. 栃木県	0	0.0%
10. 群馬県	0	0.0%
11. 埼玉県	1	0.4%
12. 千葉県	0	0.0%
13. 東京都	70	31.0%
14. 神奈川県	1	0.4%
15. 新潟県	0	0.0%
16. 富山県	2	0.9%
17. 石川県	0	0.0%
18. 福井県	1	0.4%
19. 山梨県	0	0.0%
20. 長野県	0	0.0%
21. 岐阜県	0	0.0%
22. 静岡県	1	0.4%
23. 愛知県	1	0.4%
24. 三重県	1	0.4%
25. 滋賀県	4	1.8%

選択項目	回答数	構成比
26. 京都府	14	6.2%
27. 大阪府	97	42.9%
28. 兵庫県	19	8.4%
29. 奈良県	3	1.3%
30. 和歌山県	3	1.3%
31. 鳥取県	0	0.0%
32. 島根県	0	0.0%
33. 岡山県	0	0.0%
34. 広島県	2	0.9%
35. 山口県	0	0.0%
36. 徳島県	0	0.0%
37. 香川県	1	0.4%
38. 愛媛県	0	0.0%
39. 高知県	0	0.0%
40. 福岡県	0	0.0%
41. 佐賀県	0	0.0%
42. 長崎県	0	0.0%
43. 熊本県	0	0.0%
44. 大分県	0	0.0%
45. 宮崎県	1	0.4%
46. 鹿児島県	0	0.0%
47. 沖縄県	0	0.0%
(無回答)	3	1.3%
合計	226	100.0%

問3 貴社・貴機関の従業員・職員数をお答えください。（あてはまるもの1つにチェックをしてください。）

選択項目	回答数	構成比
1. ～99人	10	4.4%
2. 100～299人	60	26.5%
3. 300～499人	41	18.1%
4. 500～999人	58	25.7%
5. 1,000～2,999人	37	16.4%
6. 3,000～9,999人	14	6.2%
7. 10,000人～	6	2.7%
(無回答)	0	0.0%
合計	226	100.0%

問4～7は大和大学「理工学部(仮称)」の概要を見た上での回答を求めた。

問4 大和大学が設置構想中の「理工学部(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。（あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

選択項目	回答数	構成比
1. ニーズは極めて高い	124	54.9%
2. ニーズはある程度高い	87	38.5%
3. ニーズはあまりない	3	1.3%
4. ニーズは全くない	1	0.4%
5. わからない	9	4.0%
(無回答)	2	0.9%
合計	226	100.0%

問5 大和大学が設置構想中の「理工学部(仮称)」が養成する人材を、貴社・貴機関において採用したいと思われませんか。（あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

選択項目	回答数	構成比
1. 採用したい	176	77.9%
2. 採用しない	2	0.9%
3. わからない	48	21.2%
(無回答)	0	0.0%
合計	226	100.0%

(問5) で1の場合) 採用可能な人数をお答えください。

提示人数	回答数	人数合計
1人	36	36
2人	40	80
3人	27	81
4人	2	8
5人	18	90
8人	1	8
10人以上	11	110
(無回答)	37	-
合計	172	413

※ 提示人数が10人を超える場合は10人として計算した。

【問5】で1の場合）大和大学が設置構想中の「理工学部（仮称）」では5つの専攻を置き、各分野において専門性を高める学びを展開します。貴社・貴機関で特に必要性が高いと思われる専攻をお選びください。（あてはまるものすべてにチェックをお願いします）

選択項目	回答数	構成比
1. 数理科学専攻	26	14.8%
2. 情報科学専攻	78	44.3%
3. 機械工学専攻	112	63.6%
4. 電気電子工学専攻	114	64.8%
5. 建築学専攻	66	37.5%
6. 現時点では未定	7	4.0%

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 176 箇所（問5で「採用したい」とした事業所数）

【問6】大和大学が設置構想中の「理工学部（仮称）」では、以下で挙げる資格・免許等が取得できる予定です（専攻により取得できる内容は異なります）。貴社・貴機関において新卒採用時、取得が望ましいとされるものがあれば、お答えください。（あてはまるものすべてにチェックをお願いします。）

選択項目	回答数	構成比
1. 中学校教諭一種免許状(数学)	0	0.0%
2. 高等学校教諭一種免許状(数学)	0	0.0%
3. 電気主任技術者(第1種)	72	31.9%
4. 陸上特殊無線技士	6	2.7%
5. 海上特殊無線技士	1	0.4%
6. 電気通信主任技術者	32	14.2%
7. 陸上無線技術士	5	2.2%
8. 一級建築士	48	21.2%
9. インテリアプランナー	9	4.0%
10. ボイラー・タービン主任技術者	9	4.0%
11. 基本情報技術者	60	26.5%

※複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 226 箇所（有効回答の事業所数）

【問7】大和大学が設置構想中の「理工学部（仮称）」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。（自由記述となります）

※ 49 箇所から回答を得た。以下、回答内容を掲載（原文通り）。順不同。【】内は【業種/所在地/従業員規模】を示す。

1.	2D もしくは 3D CAD を学ばれると実務に活きるかと思えます。【製造その他/大阪府/500～999 人】
2.	例年、建築技術者（施工管理）、土木技術者（施工管理）の新卒採用を募集しており、ご応募して頂けます様、期待しております。又、学内セミナー等にも是非参加致たく存じます。【建設業/大阪府/300～499 人】
3.	当社は特殊工法の専門工事会社ですが、その資機材を自社の4工場で作製・加工していることや溶接ロボットなどを自社制作（特許取得）していることから機械工学を、また、特殊工法だけに、工法に関する特許も数多く取得しておりますので、土木・建築を学んだ学生も採用したいと考えておりますが、資格や免許については、入社後必要に応じて取得してもらおうこととしています。【建設業/兵庫県/100～299 人】
4.	土木工学も検討して頂ければと思えます。【建設業/東京都/300～499 人】

5.	建設人口が減少している中、少子化も重なり、今後益々不足するものと思われます。また、働き方改革による効率化が図られても技術者のニーズは高まると考えます。是非そのニーズに対応した人材の中に貴校の学生を採用できる技術者の育成を期待します。【建設業/東京都/1,000～2,999人】
6.	化学工学に専攻科の設置について期待します。【化学/宮崎県/100～299人】
7.	理系学生様の専門知識を活かせる業務がないため、あまり参考にはならないと思います・・・。 理系学生様は採用対象外ではないので、それでもよろしければ、選考等にすすんで頂ければうれしいです。【運輸業、郵便業/京都府/3,000～9,999人】
8.	将来的に理工学は重要と思われます。ただ、自分の頭の中で考え、構想が組み立てられる人材が欲しいです。【IT関連業/京都府/～99人】
9.	創造力を持ちいて、プログラミング・人工知能に拍車をかけてほしい。【運輸業、郵便業/東京都/3,000～9,999人】
10.	プログラムスキルを有した人材の社会的ニーズは高く、そのような人材の輩出に注力していただくとありがたいと思います。【電気機械器具/和歌山県/100～299人】
11.	機械工学専攻に興味あります。【鉄鋼業・非鉄金属・金属製品/滋賀県/100～299人】
12.	加速する IT 人材不足は深刻化の一途であり、IT 業界に属する企業として、このような学部の新設という構想は嬉しい限りです。 時代にマッチした教育と思いますので、実現を強く望みます。【IT関連業/東京都/1,000～2,999人】
13.	関西地域での技術者育成 就業者の通信教育等の受け入れ 企業の連携（新規技術開発など） 地場産業復興支援【鉄鋼業・非鉄金属・金属製品/大阪府/300～499人】
14.	合同企業説明会を開催される予定でしたら参加したいです。【輸送機械器具/大阪府/500～999人】
15.	建築・電気・管の施工管理技士の育成【建設業/兵庫県/100～299人】
16.	機械・設備設計、制御回路、電気工事、保全技能関連の技術・技能等を取得される教育は非常に有難いと思います。【鉄鋼業・非鉄金属・金属製品/大阪府/100～299人】
17.	施工管理を希望する学生に期待したい。【建設業/大阪府/300～499人】
18.	機電系の学生様の採用をぜひさせていただきたいと考えております。【汎用・生産用・業務用機械用具/大阪府/100～299人】
19.	パワーエレクトロニクス関連の研究室を設置していただきたいです。【電気機械器具/大阪府/500～999人】
20.	学内セミナー等参加させて頂きたい。【建設業/東京都/300～499人】
21.	JABEE 認定校であることが必要と思います。 学部で FE 試験を受験できるように。【汎用・生産用・業務用機械用具/大阪府/1,000～2,999人】
22.	土木系の技術者を育てて頂きたい。 施工管理の仕事に興味を持たせて欲しい。【建設業/東京都/1,000～2,999人】
23.	理系離れと一部で言われている中、このような取り組みは素晴らしいことと考えます。今後世の中での活躍を考えると、スペシャリティを持ったゼネラリストが大きく飛躍すると考えております。 技術のみならず、様々な知見を持った学生の育成を期待しております。【電気機械器具/大阪府/500～999人】
24.	プロジェクト（チーム）の経験があるとうれしいです。【IT関連業/東京都/1,000～2,999人】
25.	・土木系も学べる環境にしてほしい ・国内インフラの修繕に対応できる人材の育成 ・建築は日ゆる「先生系」の設計デザインにこだわることなく、施行分野で活躍できる人材の育成をしてほしい 【建設業/東京都/1,000～2,999人】
26.	複数人のグループで課題に取り組み、成果を上げるようなことにも力を入れていただきたく存じます。【IT関連業/大阪府/1,000～2,999人】

27.	平素は、当社の求人につきましては毎々格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。 来年4月に貴学からの新入社員が入社いただけることとなっております。 さて、弊社が貴学理工学部様に期待します点につきまして、専門的な知識、コミュニケーション能力、社会性がバランス良く育まれた方の輩出です。【建設業/無回答/100～299人】
28.	4名以上でのグループワーク（システム構築・開発）経験にて、協力姿勢の大切さ、グループ内での積極性を身に付けて頂けると大変嬉しいです。【IT関連業/大阪府/1,000～2,999人】
29.	情報科学専攻において、プログラミングのみならず上流工程も学べるようなカリキュラムがあれば、IT企業にとっては即戦力に近い人材として期待できるかと存じます。【IT関連業/大阪府/100～299人】
30.	専攻分野はもちろんのこと、幅広く物事に関心を持つことのできる人材を育成していただけることを期待しております。今後ともよろしくお願い致します。【運輸業、郵便業/兵庫県/500～999人】
31.	主体性を持って行動することができるようになるカリキュラムを取り入れて頂きたい。 チームを組んで何を達成するという経験をして頂きたい。【通信業/東京都/500～999人】
32.	・建設業（当社は主に設備工事業）において、理系学生の積極採用は継続的な課題です。 地元採用を目指すべく、今後も宜しくお願い致します。【建設業/大阪府/100～299人】
33.	関西に新たに出来る工学系大学として、期待しております。【電気機械器具/奈良県/500～999人】
34.	・学内説明会に参加したい。【製造その他/兵庫県/300～499人】
35.	技術力だけではなく、人としてのコミュニケーション力のある「ひと」を育成して下さい。【IT関連業/大阪府/500～999人】
36.	自分で考え実行することができる優秀な学生を多く輩出されることを期待しております。【製造その他/大阪府/300～499人】
37.	冷媒サイクルなど空調機器関連の知識なども取り入れた専攻があれば幸いです。 ぜひ、和歌山市内での就職もアピール頂ければ。【電気機械器具/和歌山県/500～999人】
38.	論理的志向の高い学生の輩出を期待しております。【IT関連業/東京都/3,000～9,999人】
39.	日本の産業基盤を支えてきた鉄鋼・石油化学及びエネルギー工場やプラント施行を将来にわたり担うため、若いやる気ある施工管理者が必要です。是非、機械工及び電気電子工の中で、プラント施工の実際を学べる様、カリキュラムに入れて下さい。【建設業/無回答/500～999人】
40.	弊社は製薬会社で、化学系の人材を求めているため。 貴校に化学系の専攻がないため、採用は難しいかもしれない。【化学/兵庫県/100～299人】
41.	平素より大変お世話になっております。是非、貴学の学生を採用したいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。【建設業/東京都/300～499人】
42.	設計・施工管理の人財として期待いたします。【建設業/東京都/1,000～2,999人】
43.	当社は学部、学科不問です。【運輸業、郵便業/埼玉県/10,000人～】
44.	弊社は、西日本管内における高速道路の建築と通信を保守管理する会社で、資格を用いて業務を行っております。 入社後の手厚い資格取得支援もございますが、在学中の資格取得は優遇させていただきます。【建設業/大阪府/500～999人】
45.	機械学習、線形代数など、今後人材のニーズが高まる分野に力を入れていただきたい。【IT関連業/大阪府/100～299人】
46.	弊社はエンジニアを多く採用しています。関西圏の大学出身のエンジニア（新卒）が少ないので貴校の新設学部よりご縁があれば嬉しいです。【IT関連業/東京都/500～999人】
47.	IT、社会基盤を支える、人材【IT関連業/東京都/1,000～2,999人】
48.	弊社では、機械、電気、建築分野の職員が不足気味であるため、貴校から輩出される人材に対して大きな期待を寄せられる。【運輸業、郵便業/香川県/1,000～2,999人】
49.	弊社では理系学生採用のメインは化学系ですが、機電系採用もあります。技術者に求められるスキルも多様化しているとは思いますが、「一人」よりはチームで活動することも多いためコミュニケーション能力が必須となります。「理工学部」の特色を活かしたコミュニケーション力向上のカリキュラムを期待しています。【化学/兵庫県/500～999人】

3. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

Point 1 理工系人材の活躍が想定される、近畿圏・首都圏を中心とした「製造業」「建設業」「通信業・IT関連業」の企業等 226 箇所が回答。

大和大学が 2020 年度、設置予定の「理工学部（仮称）」に係る「設置構想についての人材需要アンケート調査」において、企業等から返送を得た有効回答 226 件の集計を行った。その結果、業種別でみた場合、最も回答数が多かったのは「製造業」で 82 箇所（全体の 36.3%）であった。その内訳としては、「鉄鋼業・非鉄金属・金属製品」「電気機械器具」各 15 箇所（同 6.6%）、「輸送機械器具」14 箇所（同 6.2%）、「汎用・生産用・業務用機械用具」13 箇所（同 5.8%）、「製造その他」10 箇所（同 4.4%）、「化学」7 箇所（同 3.1%）、「食料品・飲料・たばこ・飼料」3 箇所（同 1.3%）、「繊維」「情報通信機械用具」各 2 箇所（同 0.9%）

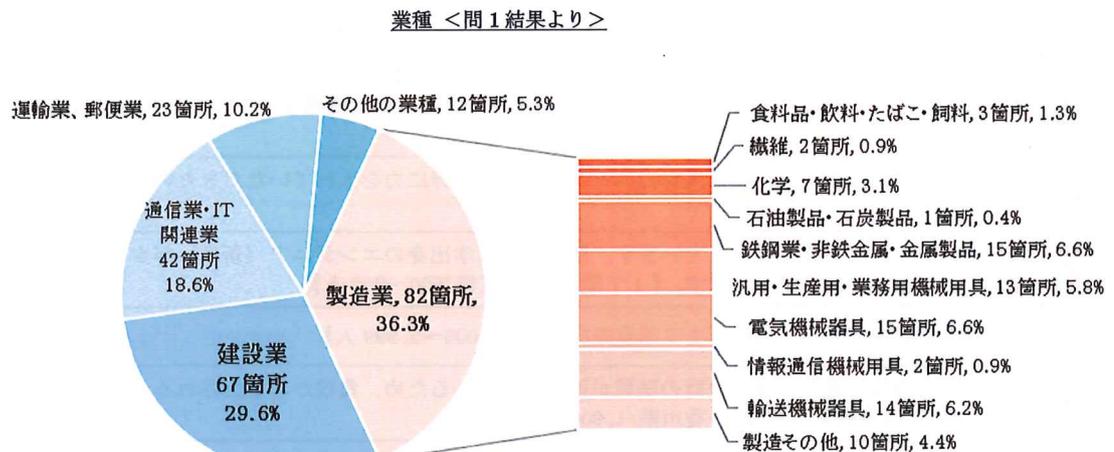
「石油製品・石炭製品」1 箇所（同 0.4%）であった。他に回答数が多かったのは、「建設業」67 箇所（同 29.6%）、「通信業・IT関連業」42 箇所（同 18.6%）であった。

また、所在地（本社・主たる事業所等）については、最も回答が多かったのは「大阪府」で 97 箇所（同 42.9%）であった。大阪府の周辺府県（兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県）を加えると、計 140 箇所（同 61.9%）で近畿地方を拠点とする企業等が中心であった一方で、「東京都」が 70 箇所（同 31.0%）であった。

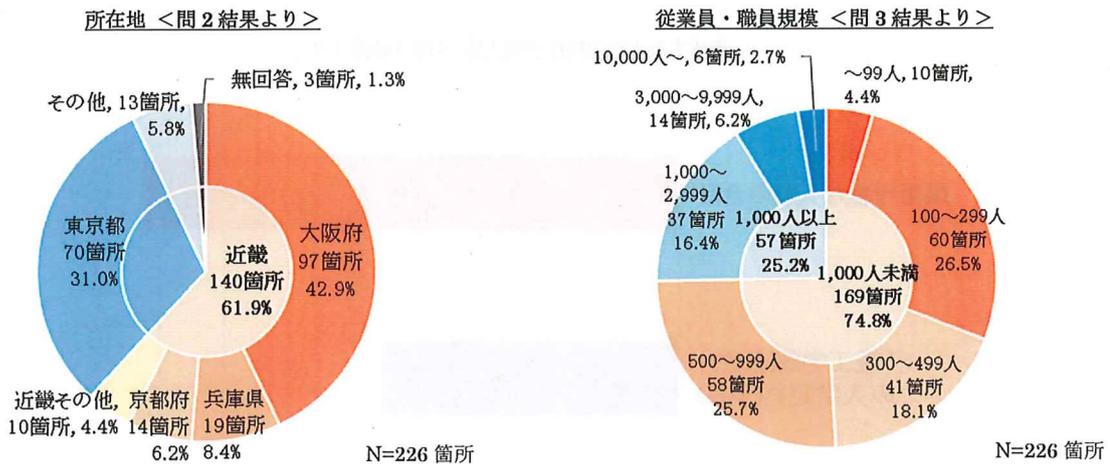
従業員、職員規模については「100～299 人」が 60 箇所（同 26.5%）で最も多く、「～99 人」10 箇所（同 4.4%）、「300～499 人」41 箇所（同 18.1%）、「500～999 人」58 箇所（同 25.7%）とあわせると、1,000 人未満の企業等が計 169 箇所（同 74.8%）であった。一方で、「1,000～2,999 人」が 37 箇所（同 16.4%）、「3,000～9,999 人」が 14 箇所（同 6.2%）、「10,000 人～」が 6 箇所（同 2.7%）あり、1,000 人以上の企業が計 57 箇所（同 25.2%）あった。

このように、大和大学がある大阪府や大企業の拠点が集まる首都圏をはじめ、製造業を中心とした、さまざまな規模の企業等から回答を得ることができた。

【グラフ】回答企業等について



N=226 箇所



Point 2 大和大学「理工学部（仮称）」が養成する人材を9割超の211箇所が社会的ニーズを認め、約8割の176箇所が採用意向を示した上で計413人の採用意向。

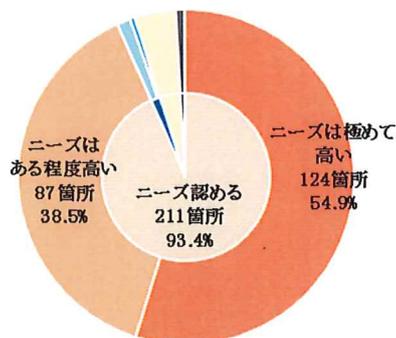
大和大学が設置予定の「理工学部（仮称）」の概要を示し、養成する人材の社会的ニーズおよび採用意向について回答を求めた。その結果、社会的ニーズについては「ニーズは極めて高い」124箇所（全体の54.9%）、「ニーズはある程度高い」87箇所（同38.5%）であった。合計すると、全体の9割超の211箇所（同93.4%）が大和大学「理工学部（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズを認める結果となった。また、約8割の176箇所がその養成する人材を「採用したい」と回答した。さらに、「採用したい」とした上で提示された採用可能人数は、入学定員230名を大きく上回る413人に達した。

加えて、採用意向を示した176箇所の企業等に対し、「理工学部（仮称）」の専攻の中で、必要性の高い専攻について回答を求めた。結果、最も回答が多かったのは「電気電子工学専攻」114箇所（回答対象176箇所の64.8%）であった。他に「機械工学専攻」112箇所（同63.6%）、「情報科学専攻」78箇所（同44.3%）などが上位を占めた（複数回答の結果）。

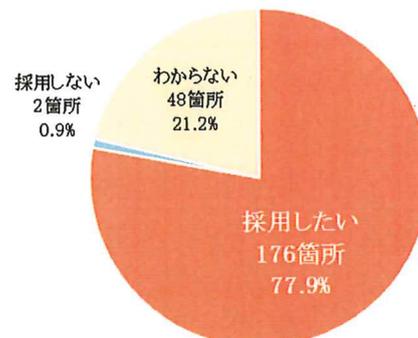
なお、新卒採用時に取得が望ましい免許・資格についての回答を求めたところ、最も多かったのが「電気主任技術者（第1種）」72箇所（全体の31.9%）で、続いて「基本情報技術者」60箇所（同26.5%）、「一級建築士」48箇所（同21.2%）が上位を占めた（複数回答の結果）。

【グラフ】大和大学「理工学部（仮称）」が養成する人材の社会的ニーズ・採用意向について

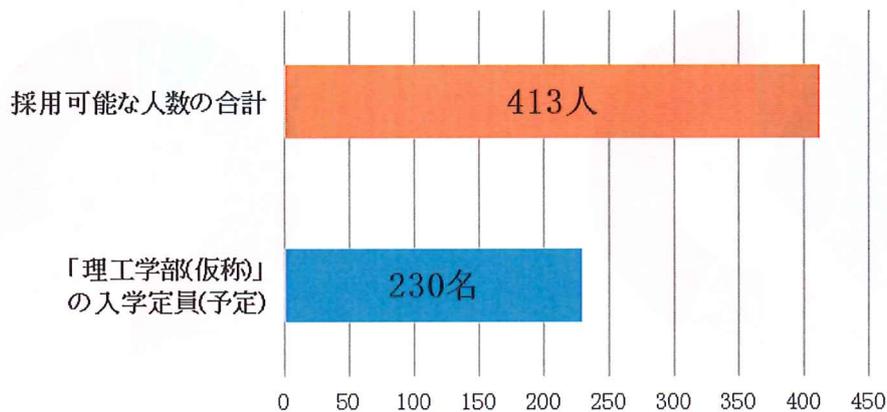
養成する人材の社会的ニーズについて <問4結果より>



養成する人材の採用意向 <問5結果より>

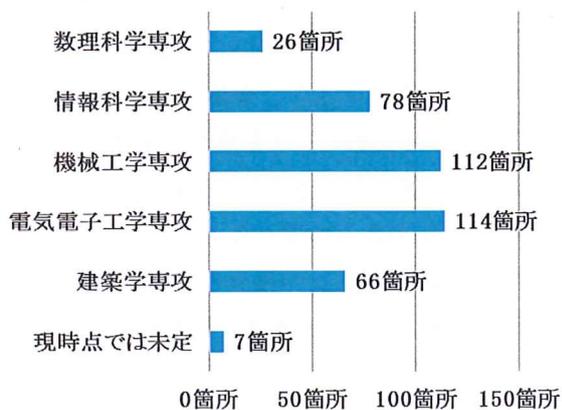


養成する人材の採用可能人数 <問5結果より>



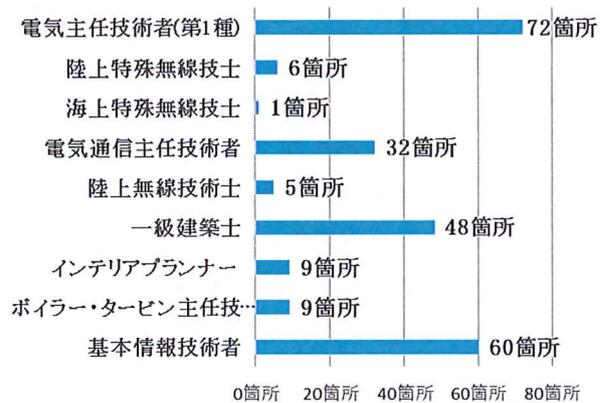
N=176 箇所 ※問5で採用意向を示した企業等

採用企業等で必要が高い専攻 <問5結果より>



N=176 箇所 ※問5で採用意向を示した企業等

新卒採用時に取得が望ましい免許・資格 <問6結果より>



0箇所 20箇所 40箇所 60箇所 80箇所

N=226 箇所

【添付資料】

「設置構想についての人材需要アンケート調査」



大和大学 工学部 (仮称)

2020年4月開設にむけ **設置構想中**

設置構想についての人材需要アンケート調査

(対象：人事・採用ご担当者様)

大和大学(大阪府吹田市片山町 2-5-1)は 2020 年 4 月、理工学部(入学定員 230 名)の新設を構想しています。大和大学ではこのアンケート調査を通して、将来的に理工学部卒業生の採用をご検討いただく皆様からご意見をお聞きし、設置構想の参考とさせていただきたいと考えています。皆様から得られた情報は、理工学部の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。アンケート調査へのご協力を、よろしくお願いたします。

※このアンケート調査は大和大学から委託された第三者機関(株式会社高等教育総合研究所)が実施しています。

記入例を参考にご回答ください。 正しい 誤り 正しい 誤り

問 1 貴社・貴機関の主業種として、最もあてはまるものをお答えください。

(最もあてはまるもの一つにチェックをお願いします)

- | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="radio"/> 農業、林業、漁業、鉱業 | <input type="radio"/> 建設業 | <input type="radio"/> 電気、ガス、熱供給、水道業 |
| 製造業 | | |
| <input type="radio"/> 食料品・飲料・たばこ・飼料 | <input type="radio"/> 繊維 | <input type="radio"/> 化学 |
| <input type="radio"/> 石油製品・石炭製品 | <input type="radio"/> 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品 | <input type="radio"/> 汎用・生産用・業務用機械用具 |
| <input type="radio"/> 電気機械器具 | <input type="radio"/> 情報通信機械用具 | <input type="radio"/> 電子部品・デバイス・電子回路 |
| <input type="radio"/> 輸送機械器具 | <input type="radio"/> その他 | |
| <input type="radio"/> 通信業 | <input type="radio"/> IT関連業 | <input type="radio"/> 放送、新聞、出版業 |
| <input type="radio"/> 運輸業、郵便業 | <input type="radio"/> 金融業・保険業 | <input type="radio"/> 卸売業 |
| <input type="radio"/> 小売業 | <input type="radio"/> 学術研究、専門・技術サービス | <input type="radio"/> 不動産業、物品賃貸業 |
| <input type="radio"/> 宿泊業・飲食サービス業 | <input type="radio"/> 生活関連サービス業、娯楽業 | <input type="radio"/> 医療、福祉 |
| <input type="radio"/> 教育、学習支援業 | <input type="radio"/> その他サービス | <input type="radio"/> 公務 |
| <input type="radio"/> その他 | | |

問 2 貴社・貴機関の所在地をお答えください。(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

- | | | | | | | |
|---------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|
| <input type="radio"/> 北海道 | <input type="radio"/> 青森県 | <input type="radio"/> 岩手県 | <input type="radio"/> 宮城県 | <input type="radio"/> 秋田県 | <input type="radio"/> 山形県 | <input type="radio"/> 福島県 |
| <input type="radio"/> 茨城県 | <input type="radio"/> 栃木県 | <input type="radio"/> 群馬県 | <input type="radio"/> 埼玉県 | <input type="radio"/> 千葉県 | <input type="radio"/> 東京都 | <input type="radio"/> 神奈川県 |
| <input type="radio"/> 新潟県 | <input type="radio"/> 富山県 | <input type="radio"/> 石川県 | <input type="radio"/> 福井県 | <input type="radio"/> 山梨県 | <input type="radio"/> 長野県 | <input type="radio"/> 岐阜県 |
| <input type="radio"/> 静岡県 | <input type="radio"/> 愛知県 | <input type="radio"/> 三重県 | <input type="radio"/> 滋賀県 | <input type="radio"/> 京都府 | <input type="radio"/> 大阪府 | <input type="radio"/> 兵庫県 |
| <input type="radio"/> 奈良県 | <input type="radio"/> 和歌山県 | <input type="radio"/> 鳥取県 | <input type="radio"/> 島根県 | <input type="radio"/> 岡山県 | <input type="radio"/> 広島県 | <input type="radio"/> 山口県 |
| <input type="radio"/> 徳島県 | <input type="radio"/> 香川県 | <input type="radio"/> 愛媛県 | <input type="radio"/> 高知県 | <input type="radio"/> 福岡県 | <input type="radio"/> 佐賀県 | <input type="radio"/> 長崎県 |
| <input type="radio"/> 熊本県 | <input type="radio"/> 大分県 | <input type="radio"/> 宮崎県 | <input type="radio"/> 鹿児島県 | <input type="radio"/> 沖縄県 | | |

問 3 貴社・貴機関の従業員・職員数をお答えください。(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| <input type="radio"/> ~99 人 | <input type="radio"/> 100~299 人 | <input type="radio"/> 300~499 人 | <input type="radio"/> 500~999 人 |
| <input type="radio"/> 1,000~2,999 人 | <input type="radio"/> 3,000~9,999 人 | <input type="radio"/> 10,000 人~ | |





問 4 以降は別紙「大和大学「理工学部(仮称)」の概要」をご覧ください。

問 4 大和大学が設置構想中の「理工学部(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われませんか。(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

- ニーズは極めて高い
- ニーズはある程度高い
- ニーズはあまりない
- ニーズは全くない
- わからない

問 5 大和大学が設置構想中の「理工学部(仮称)」が養成する人材を、貴社・貴機関において採用したいと思われませんか。(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

- 採用したい
- 採用しない
- わからない



「採用したい」とされた場合、よろしければ以下にお答えください。

・採用可能な人数をお答えください。 人

・大和大学が設置構想中の「理工学部(仮称)」では5つの専攻を置き、各分野において専門性を高める学びを展開します。貴社・貴機関で特に必要性が高いと思われる専攻をお選びください。(あてはまるものすべてにチェックをお願いします)

- 数理科学専攻
- 情報科学専攻
- 機械工学専攻
- 電気電子工学専攻
- 建築学専攻
- 現時点では未定

問 6 大和大学が設置構想中の「理工学部(仮称)」では、以下で挙げる資格・免許等が取得できる予定です(専攻により取得できる内容は異なります)。貴社・貴機関において新卒採用時、取得が望ましいとされるものがあれば、お答えください。(あてはまるものすべてにチェックをお願いします。)

- 中学校教諭一種免許状(数学)
- 高等学校教諭一種免許状(数学)
- 電気主任技術者(第1種)
- 陸上特殊無線技士
- 海上特殊無線技士
- 電気通信主任技術者
- 陸上無線技術士
- 一級建築士
- インテリアプランナー
- ボイラー・タービン主任技術者
- 基本情報技術者

問 7 大和大学が設置構想中の「理工学部(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。(自由記述となります)

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。



以下は大和大学が2020年に新設構想中の「理工学部（仮称）」の概要です。

多彩な研究、国内有数企業による実学講座、国際感覚の修得を通して、未来を「創造」する人材を養成

大和大学 理工学部（仮称） 新設構想中

学部の概要

- 開設時期：2020年4月(予定)
 開設場所：大和大学(大阪府吹田市片山町2-5-1)
 修業年限：4年
 入学定員：230名(数理学専攻30名、情報科学専攻50名、機械工学専攻50名、電気電子工学専攻50名、建築学専攻50名)
 養成する人材：豊かな発想力・創造力と理工学の深い知識をもち、幅広くものごとを捉えて、高い責任感と倫理観、国際感覚のもとに、新しい科学技術の創成やその利用に関するさまざまな領域で、ものづくりや研究開発、ビジネスに活躍する人材。

【学科・専攻編成】

学科名 ※仮称	専攻名 ※すべて仮称	カリキュラム例
理工学部 (入学定員230名)	数理学専攻	代数学(群論・環論・体論, ガロア理論) 幾何学(多様体論, 位相空間論)、解析学(関数解析学, 微分方程式論)、応用数学(数値解析)、統計科学(数理統計学)など
	情報科学専攻	情報数理、プログラミング言語、ソフトウェア工学、データ科学とデータ分析、人工知能など
	機械工学専攻	機械力学、材料力学、流体力学、熱工学、設計工学、制御工学、ロボティクス、産業・交通機械工学など
	電気電子工学専攻	電気電子回路、固体電子物性、半導体工学、発電工学、電気通信システム、コンピュータアーキテクチャなど
	建築学専攻	建築計画学、建築設計製図、住環境論、建築環境学、建築構造工学、耐震設計法、建築材料学など

- 上記「カリキュラム例」は各専攻の専門教育科目
- 数学、物理の専門基礎教育科目は学部内共通
- 複数専攻で履修する科目、専攻を越えて履修できる選択科目を設定
- 4年次に卒業研究を実施

【卒業後の進路】

- 公務員、教員等及び、精密機械、産業機械、自動車、電機、ソフト・ハードのICT等のメーカー企業、交通運輸、情報通信、エネルギーなど基幹インフラ分野の企業、建設ゼネコン、住宅メーカー、建築設計、等の企業への就職
- 将来の新しい技術の研究開発などにたずさわる研究者、高度技術者をめざした国公立大学院の理工系研究科への進学

【学部内共通の特色】

- 魅力的な理工系の専門分野の協同・融合型教育
- 自由な発想で「ものづくり・創造する力」をはぐくむ多彩な研究
- 理工学の力を基礎から育て伸張させる確かなカリキュラムと指導力
- 国内有数企業約30社による実学講座
- 就職・国公立大学院進学を強力にサポート
- 運用力を確実に身につける英語教育
- 国際感覚を身につける海外留学・研修

【取得をめざす資格(予定)】

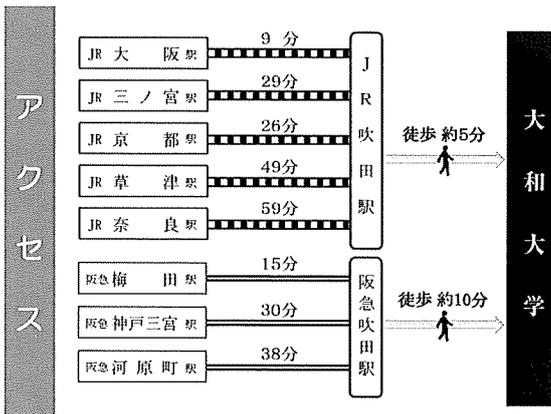
中学校・高等学校教諭一種免許状(数学)、電気主任技術者(第1種)、陸上特殊無線技士、海上特殊無線技士、電気通信主任技術者、陸上無線技術士、一級建築士(卒業後2年の実務経験で受験資格)、インテリアプランナー、ボイラー・タービン主任技術者(卒業後6年の実務経験)、基本情報技術者 など
 ※専攻により取得できない場合があります。

学部の特色 及び 卒業後の進路

初年度学費(他大学との比較)

大学名・学部名・学科名 所在地	入学金	授業料等	初年度 学費
大和大学 理工学部(仮称) 大阪府吹田市片山町2-5-1	180,000	1,420,000	1,600,000
関西大学 システム理工学部 大阪府吹田市山手町3-3-35	260,000	1,453,000	1,713,000
近畿大学 理工学部 大阪府東大阪市小若江3-4-1	250,000	1,442,000	1,692,000
関西学院大学 理工学部 兵庫県三田市学園2-1	200,000	1,457,000	1,657,000

※大和大学 理工学部(仮称)の学費は2020年度予定です。
 ※他大学の学費は2018年11月時点の各大学ホームページ掲載情報です。
 ※その他、各大学とも諸会費が別途必要となる場合があります。



上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。